

北海道！

汲田 浩男

北の大地北海道。プライベートを含めて7回目の北海道。何度来ても素晴らしい風景の北海道。中国人だらけの北海道。来年は新幹線で足を踏み入れる予定の北海道。

社内研修レポート

北海道〈函館・札幌・小樽〉

総務課 恒石 圭介

平成27年5月21日～5月23日の日程で研修。

景勝地にも感動したが、今回注目したのは、3日間ガイドしてくれた、エイチ・ビー観光株式会社のガイド、鈴木さんであった。御年70歳。奇しくも研修の前日5月20日が誕生日とのこと。奇跡の70歳、見た目はとてもその年には見えない。

私がガイドさんに着眼したのは、鈴木さんのプロとしてのこだわりでした。

私たちも技術屋でありガイドもある意味職人です。

正直、最初にお会いしたときは自分より少し年上の方に見えて落胆しました。

ところが、そのガイドテクニックに目を見張るモノがあったのです。

北海道は広大で、観光地を移動するのに500kmの移動は普通のこと。ガイドさんの言葉を借りるならば「今回は楽な行程」。300kmは楽なのだそうです。

一つの場所を説明するのに、その場所の歴史、関連する偉人、詩歌、トピックス等様々な情報がわかりやすく説明されていました。コンサルタントは説明力が不可欠。そしてそのテクニックは重要です。物事を探求し、プレゼンする方法を磨く。まさにその職人技を見せて頂きました。長い道中で有りながら飽きさせない、しかも強要しない口調。「重要なところは繰り返しお話しいたします」とキーポイントをしっかりと色分けしていた。

じゃんけん大会など、チョットしたイベントを入れ車内のムードを変え、領いてくれるだけで助かりますなどの、聞き手が反応しやすいよう具体的な方向を示す。時には「原稿に書いてあるので必須の説明箇所ですから面白くない話しですがお話しいたしました」と楽屋落ちして随所に笑い話も忘れなかった。



研修最終日。

今年度入社式にて古川先生から講演頂いた吉井勇ゆかりの小樽の防波堤。この視察は行程には組み込まれていなかった。残念ながら北側を観る時間は無かったが南側をオプション的に組み込んで貰った。そのときのガイドの鈴木さんの言葉が印象的だった。「自分も防波堤については見識が無い。情報として知っておきたい。コースに入れることも検討したい」と非常に前向きな

職人魂であった。

景勝地の見所を書くべきであったかもしれないが、切り口の違う私のレポート。ガイドは旅の重要なポイント。仕事にも鈴木さんのノウハウを活かしていきたい。

最後に、このような経験をさせてくれた準備担当の親睦会と福利厚生をおこなってくれた会社に感謝をいたします。

北海道で食い倒れツアー

総務課 明神怜佳

1日目 5/21 (木)

7:35 高知龍馬空港を出発し、羽田経由で函館空港に向かう。

12:30頃 函館空港に着いたが、とても寒い。この日は最高気温が14度。高知より10度も低い。

そこから20分バスで走ると函館市場の中にある「すずき食堂」に着いた。

うに・いくら・えび・ほたて・いか・ウニが乗っている海鮮丼だ。とても美味しかったが、私の大好きなウニがちょっとしか乗ってなかったのが残念だった。



食事の出たところは、市場になっていて食事中もずっと生通販番組と言わんばかりに営業してきて面白かった。

食事が終わり、函館市場を散策。明日の朝にもう一度来るので今日は下見だ。どこも勧誘がすごくて、活気がある。たくさん試食すると、どれが美味しいのかだんだん分からなくなる。

近くに、かにまんが売っていた。北海道にしかないのでは？と思い、迷わず購入。店のおばちゃんの中に蟹味噌も入れてくれた。かにまんもアリだな。と思うくらいとても美味しかった。

集合10分前にバスに戻ったが寒かったのかすでに全員戻ってきていた。



次は五稜郭タワーに向かう。五稜郭タワー（ごりょうかくタワー）は、北海道函館市の特別史跡五稜郭に隣接する展望塔。

五稜郭公園を眺望する 107m の高さを持つタワー。上からの眺めは、星形の五稜郭をしっかりと確認できる。



時間もあつたので五稜郭公園に向かう。気温も暖かくなってきた、ツツジやまだ桜も残っており、足元にはタンポポがたくさん生えており、散歩日よりとなった。

本日最後の観光は、北海道函館市郊外にあるトラピスト会系の女子修道院、トラピスチヌ修道院。日本最初の観想女子修道院である。

4本脚の動物は食べてはいけない。外出は、選挙と親が危篤、病気になったときだけ。



修道女の一日の生活は、祈り、旧約聖書、新約聖書の勉強、そのほかの学問、労働などによって織りなされ、バランスのとれた人間像の実現を目指す。

と聞いているだけで私には、息がつまるような生活だ。

そこでソフトクリームが売っていたので購入。牛乳の濃厚さがたまらない。北海道ではソフトクリームは外せない！！と思っていたので満足♪

本日の宿は、湯ノ川プリンスホテル渚亭。

部屋に着くと、とりあえずみんなゴロリ。少しくつろぎ 17:30 から早めの夕食だ。

まだお腹は減ってないが、次々と豪勢な食べ物が出てくる。

お刺身に・カニ・鍋・肉！！もうお腹いっぱい動けない。



19:30 から函館の100万ドルの夜景で見に行きたかったが、私は妊婦な

ので体調壊してもいけない思いお留守番。

一足先に温泉へ。

とても広く、寝転がって入れるサウナやジェットマッサージ付き風呂・夜景の見える露天風呂。前に海があるようだが、真っ暗で見えないのが残念だったが、ゆっくり出来て満足。

本日は早めに就寝して、明日に備える。

2日目 5/22（金）

少し早く目を覚まし、朝の露天風呂を楽しむため温泉へ。朝は、おばさまが多い。期待をしていた海は、綺麗とは言えなかったが、津軽海峡を挟み向こう側に青森県の津軽半島が見えた。

朝食は、驚くほど豪勢だった。いくら・サーモン・ネギトロが食べ放題。

早速、井ぶりにして、あとは北海道のジャガ芋やおかずもたくさんあったので欲張ってたくさん食べたのでお腹いっぱいになった。



朝から函館市場。お目当てのウニとイクラを購入。今日は函館から札幌まで移動とあって、ほとんどバスの中だ。

お昼は、石狩鍋懷石を食べ、またバスに揺られアパホテル札幌に着いたのは16：30。

今から一日が始まるという感じだ。

大通り公園、さっぽろテレビ塔・赤レンガの北海道庁旧本庁舎・札幌の時計台を見ながら札幌駅に向かう。10階にあったお店でスープカレーを食べ、JR.タワーの展望台に行く。この日は運がいいことにクラリネットとピアノの生演奏があり、音楽を聴きながらの夜景を眺める。

札幌は、いいぐらいに都会で、せかせかしていなく、とても住みやすいように感じた。

帰りに地下でシュークリームを購入し、ホテルに戻り、就寝。



3日 5/23 (土)

最終日は小樽。天気も暖かく、最高だ。お菓子の試食がたくさんあり、お昼がいらないくらい、お菓子をつまんでいた。

みんなたくさん買っていたが、どれも美味しく、悩むとなかなか購入には至らない。



ガラス細工のお店もたくさんあり、私はそこでお地蔵さんのガラスの置物と出会ってしまった。一体、2,000円と少々値がはったが、一目惚れをしてしまったため、二体購入♪ とても可愛く大満足。

後は、当初の目的の食い倒れの旅と言わんばかりに、ケーキ・プチ海鮮丼・ラーメン・ソフトクリームと食べまくる。

北海道は何を食べても本当に美味しい。

ホッケを食べ忘れたのが心残りだが、満足の行く食べ歩きツアーとなった。
また、妊婦さんだったので皆さんが、とても気を使ってくれて、人の優しさに
感謝する旅となった。

北海道社内旅行

営業部営業課 山本 剛也

5月21日から23日まで2泊3日の日程で北海道への社内旅行に参加しました。高知から羽田で乗継ぎをして函館についたのはお昼でした。

北海道は、初めてでしたので今回の旅行はとても楽しみにしておりました。空港から外にでてまず感じたのが、「寒い！」の一言でした。高知では日中は半袖でもいいくらいの暑さですが、北海道はまだ長袖で十分の気候でした。函館のこの日の予想最高気温は17℃とゆうことでしたが、風がすごく強く吹いていたため、体感気温はもっと寒く感じました。高知での3月上旬から中旬といった感じでした。バスから函館朝市へ移動中函館の街並みを見て感じたことは、どの家も二重玄関になっていました。あと煙突がついている家が多いと感じました。それと道路についている標識で高知では見ない標識がありました。それは停止線の位置を知らせる標識でした高知では、停止線のみ道路に線が引かれておりますが、雪国の北海道では、雪で停止線が見えなくなることがあると思われるので標識で停止線位置を確認されているのかなと思いました。あと、信号機は横型より、縦型が多いと感じました。これも雪国ならではの光景なのかなと感じました。函館朝市では、おいしい海鮮丼を食べて、少し散策したあと五稜郭に向かいました。現地では、五稜郭タワーに上り函館の市街地と五稜郭を一望することが出来ました。次に修道院を訪れ、それから宿泊地の温泉旅館に向かいました。夕食も豪華でおいしい北海道ならではの海の幸や山の幸を戴きました。夕食後は、函館山へ夜景を見に行きました。夜は日中よりもさらに寒むかったですが、その寒さも吹き飛ばしてくれるぐらいすごくきれいな100万ドルの夜景を楽しむことが出来ました。



二日目は、朝八時から温泉旅館を出発し、大沼国定公園と昭和新山で観光をして夕方札幌のホテルにつきました。この日の昼食は、洞爺湖の近くの店で石狩鍋を戴きました。とてもおいしくてお腹いっぱい北海道グルメを堪能することができました。この日の夕方は、自由行動とゆうこで札幌の夜をみんなで楽しく満喫しました。



最終日三日目は、小樽観光でした。現地にて三時間くらい自由行動とゆうこで、お土産を買ったり、小樽の街をブラブラと歩きながら観光しました。その街並みの中に、旧日本銀行小樽支店があり中が資料館になっておりました。資料館は無料で見学することができ中は、一億円の重さを体験できるコーナー等日本銀行やお金についてや、小樽の街の歴史等いろいろと楽しみながら学ぶことができました。昼食は大好きなウニとイクラの二色丼を堪能して北海道のおいしい海の幸を締めくくりました。



今回訪れることが出来たのは大きな北海道のごく一部の部分だけでしたが、すごく楽しい初めての北海道旅行でした。来年以降も、社内旅行が継続していけるように精一杯仕事に打ち込んでいこうと強く感じました。

北海道を訪れてみての感想

森下 昌裕

今回、私は 5 月 21 日から 2 泊 3 日で弊社旅行組の第一班として北海道へ行かせて頂きました。自分自身初めての北海道ということもあり、期待を膨らませながら当日は 4 時半起床で空港へと赴いてしまいました。

初日は函館でお昼は海鮮丼となり、隣で土産物の宣伝を聴きながらの食事となりました。お昼を終えた後は行程表とは順番が代わり、先に五稜郭公園へと向かいました。



五稜郭公園タワーから見る五稜郭公園は素晴らしいものでしたが高所恐怖症の気がある私はあまり窓際へは近寄れず先輩方に笑われることになりました。





その後は「日本初の女子修道院」であるトラピスチヌ修道院を訪問しました。
そこでは修道女達が手作りで「マダレナ」というお菓子が売っており、こちらでしか手に入らないということでこれはお土産に最適だと思ったのですが、いざ、実物を見てみるといわゆる世間一般で言われる「マドレーヌ」ケーキでした。ということでこちらでのお土産購入は取りやめることとなりました。



修道院を後にした私たちは初日での宿泊先である湯の川プリンスホテル渚亭へと向かいま
した。



ホテルでの夕食は大変おいしく、食前酒のメロンの果実酒から始まり最後まで大満足で私
達は初日最後の観光である「函館の夜景」へと向かったのです。



上の写真にはカタカナ3文字が読み取れ、それを見つけた独身者（女性限定）は恋が実っ
たり愛が深まったりするということです。

さて、二日目は長い間バスに揺られて、まずは「新日本三景」の一つである大沼国定公園へと向かいました。一目でここはすごいなと思わせる場所でしたが何分滞在時間が短くとてもじゃありませんが回れそうにないなと思っていたところにモーターボートの看板発見。その場にいた方々と一緒に乗り込みました。



下は次の目的地である昭和新山



下はお昼で食べた石狩鍋



二日目は自然を満喫する観光となり、初日と違ってまた違う感動を覚えたのでした。ホテルへ到着してからは自由行動となり、各々の目的に合わせてちらばり、私自身もいざ札幌と意気揚々とホテルを出たのでした。

そして最終日へ...

3日目は小樽へと向かいました。私の目的は運河も見たいが、やっぱりお寿司ということでお寿司屋さんを探す過程における小樽観光となりましたが、見るところも大変多く、土産物屋も充実し、風情もあってまた来たいと思わせてくれる場所でした。



2泊3日で初めての北海道、普段接する事の少ない方とも交流でき非常に有意義な旅行となりました。有り難うございました。

平成27年度社員旅行（北海道）

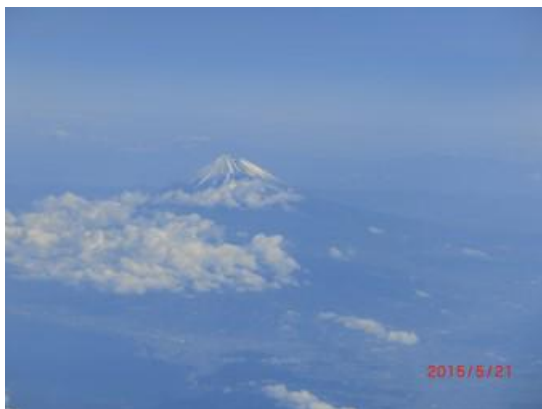
道路交通課 濱田拓也

まえがき

平成27年5月21日から2泊3日で社員旅行にいった。行き先は北海道（道南）である。初日は函館観光，2日目は函館から札幌への移動と札幌市内でフリータイム，3日目は札幌から小樽に移動し，小樽市内観光の予定。今回で北海道は3回目（道南は2回目）であるが，前回行ったのは既に20年前のことで，どこに行って何をしたかをほとんど覚えておらず，初めて行く感覚だ。

初日

高知龍馬空港7時35分発のANA562便。羽田空港でANA553便に乗り換え，昼過ぎに函館につく予定である。20年前の旅行では，高知空港から北海道（札幌千歳空港）への直行便があり，その便で直接北海道入りした記憶がある。今回の旅行は函館空港着であるため前回とは異なるが，現在は札幌千歳空港へも直行便がなく，羽田等を経由することが必要なようである。



飛行機からの景色。天気が良く富士山が綺麗に見えた。

函館に着くとすぐにバスに乗り，函館朝市のある市場で海鮮丼の昼食。



昼食をご馳走になったすずや食堂。北海道最初の昼食は海鮮丼であった。

昼食後は日本初の女子修道院であるトラピスチヌ修道院を見学。



トラピスチヌ修道院。

トラピスチヌ修道院からバスで移動し，五稜郭を見学。五稜郭では五稜郭タワーの展望台に登り，五稜郭周辺の景色を観賞した。五稜郭は江戸時代末期の城郭ということもあり，当時の建物，城壁がきれいに残されているほか，戦争で使用された大砲が展示されている，江戸時代当時の北海道を感じることができた。特に城壁の石積みは，現在では作ることができないと思えるほど見応えがあった。一つ残念なことは，五稜

郭では、この時期は例年桜が満開のようなのであるが、今年は桜の開花が早く、もう既に散った後であったため、桜色に染まった五稜郭を見ることができなかったことだ。次回来るようなことがあれば見てみたいものである。



五稜郭タワーから見た五稜郭。桜が終わっていたのが残念だった。

五稜郭見学後は温泉旅館である湯の川温泉渚亭にチェックイン。最近の旅行はほとんどがビジネスホテルでの宿泊であるため、和室での相部屋は新鮮であった。チェックイン後すぐに全員で宴会。料理は、海鮮がメインの料理で想像以上においしく頂いた。



函館での宴会。

宴会後、再度バスに乗り、函館山の夜景を観賞。100万ドルの夜景で有名であるが、実際に見てびっくりである。函館の扇形が綺麗にライトアップされている。正直あんなにきれいな夜景とは思っていなかった。当日の天候の状態も良好で、運も良かったようだ。運の悪い人は霧やガスであまり綺麗に見えないとのこと。また、観光客があふれて行き帰りの道中が大渋滞する場合もあるらしい。



函館山の夜景。写真で見る以上に綺麗。

ホテルに帰ると、私と矢田課長補佐、片岡課長補佐、奥村主任、島村の5人で麻雀大会。私と矢田補佐は大の麻雀好きで、十数年前の宮崎旅行でも明け方まで麻雀をした記憶がある。若手の島村とも大笑いしながら遊べたのは本当に楽しかった。



麻雀大会。上司も部下も関係なし。

函館は、前回の旅行では行ってないこともあり、新鮮であった。温泉にゆっくりつき、飲んで、食って、遊んで。すごく楽しい時間を過ごすことができた。

2日目

2日目は、初日に行った函館朝市に少し寄り、札幌への移動。移動中に大沼国定公園、昭和新山を見学し札幌へ。函館から札幌までの距離はおよそ 300km あり、予定では移動だけで約 5 時間の長旅である。

函館朝市で少し買い物をしたあと大沼国定公園へ移動。ここでは 30 分程しか時間がなくあまり見学できず。



大沼国定公園。時間がなくゆっくりと建学できなかった。

さらにバスに乗り、洞爺湖温泉地区へ移動。昼食の予定時刻より早く到着したため、予定を少し変更し、目と鼻の先である昭和新山を見学。



国の特別天然記念物に指定されている昭和新山。

着くまで全然覚えていなかったが、洞爺湖での昼食時に、建物の前に立っている熊の剥製に見覚えが。20 年前にもここに来ている。今回は行かなかったが、熊牧場でヒグマに餌をやったり、熊がたって餌をくれた手を振っている姿が蘇ってきて、今回の旅行で初めて懐かしさを感じた。ただ、私も歳をとったが、熊の剥製も随分歳をとった。少しおかしかった。

洞爺湖での昼食は石狩鍋。びっくりするくらい美味しかった。昼間からビールを飲み、旨い鍋をごちそうになる。贅沢な時間を過ごすことができた。



昼食の石狩鍋。

洞爺湖を後にし、さらに札幌までバス移動。機能の夜更かしと、満腹感に加えアルコールもお手伝いして睡魔が襲ってきた。2時間の長い旅路であるが、気がつけば札幌へ到着していた。

札幌での宿泊は、アパホテル札幌というビジネスホテル。チェックインを済ませると、恒石課長と矢田補佐と話をし、おなかも空いていないし、歩いてちょっとした観光をしようという話になった。

大通り公園を通過して、さっぽろテレビ塔へ。週末の夕方ということもあってか、大通り公園はすごい人で賑わっていた。



さっぽろテレビ塔。写真には写っていないが、大通公園はすごい人だった。

テレビ塔を少し見て、札幌市時計台へ。前回来たときは、バスの中からちょっと見ただけであったため、今回は近くでじっくり見たかった。が、行ってみてがっかりした。昔ながらの時計台と鐘の音色を聞いたが、周辺の景色が近代的すぎてか、良さが感じられなかった。



札幌市時計台。

時計台を見た後は、赤れんが庁舎へ。赤れんが庁舎周辺は、れんが造りで周辺が整備されるなど、高知では見ることでできない綺麗な街並みを見ることができた。



赤れんが庁舎。(写真奥)

赤れんが庁舎から少し歩き JR タワーへ。JR タワーから見た夜景は、函館以上の夜景を期待したが、函館には遠く及ばず。建物も光も多いはずであるのに、なぜか普通の夜景にしか見えなかった。

その後地下鉄に乗り、すすき野の居酒屋で食事をとった。ここで食べたホッケ、シシャモ、アスパラ焼きは非常に美味しかった。

最終日

最終日は、札幌から 1 時間ほどかけて小樽へ移動し、小樽市内でのフリータイムである。汲田副社長を筆頭に 10 名は、先日の古川先生の講演で話のあった小樽港の防波堤を見学に行った。残念ながら、資料館は休みで見学できなかったが、廣井勇氏とその弟子の方が作った防波堤は圧巻であった。



小樽港。防波堤の大きさは圧巻。

小樽市内は前回の旅行でも来ており、運河や街並みに特徴があったため結構記憶に残っていた。スイーツが有名な女性向けの街で、我々男性には見るところがあまりなかったため、お土産探しが中心となった。

最後の昼食は、前日同様に恒石課長と矢田補佐と 3 人で。恒石課長が寿司をどうしても食べたいということで、寿司屋通りに寿司屋探しに行った。店探しをしていると、たまたま地元の焼き肉屋のおばさんが話しかけてきて、あそこのお寿司が美味しい。と教えてくれた。焼き肉にしないか？と聞かれたが、次来たときは来るといって、教えてくれた寿司屋に直行した。3 人で特上寿司とホッケの開き、ビールを堪能。ここでも、非常に美味しい昼食を頂くことができた。



昼食をとったすし勘さん。感じも良く美味しい寿司を頂いた。

あとがき

小樽見学後は、札幌千歳空港に移動し、出発までの時間を利用し再度お土産を買い高知へ。行きと同様に羽田経由である。

2 泊 3 日という短い時間での北海道旅行であったが、仕事を忘れ、楽しい時間を過ごすことができた。また、歳をとったのか、前回行ったときと比べると、観光の仕方が自分でも随分変わったと感じた旅行であった。若いときは、とにかくみんなと楽しく過ごしたいという気持ちが 1 番であったが、今回は静かにゆっくりと自分の時間で観光したいという気持ちが強かった。そして、そういう観光ができたと思う。

最後に、毎年社員旅行につれ行って頂く会社感謝するとともに、今回の旅行を楽しみ旅行にして頂いた、添乗員さん、バスガイドさん、運転手さんに感謝したい。

第一コンサルタンツ 社員旅行レポート(第1班)

設計一部 道路交通課 又川 嵩哉

1. 旅行スケジュール (5/21～5/23)

1.1 5月21日(旅行1日目)

- 1). 高知龍馬空港 発→羽田空港 経由→函館空港 到着 (7:35～11:45)
- 2). 函館朝市にて昼食 (12:30～13:30)
- 3). 五稜郭公園 → トラピスチヌ修道院の散策 (14:00～16:00)
- 4). 湯の川温泉(宿泊場所)にて宴会 (16:30～19:30)
- 5). 函館山にて 100 万ドルの夜景観賞 (20:00～21:00)

1.2 5月22日(旅行2日目)

- 1). 湯の川温泉 出発 (8:00)
- 2). 函館朝市 → 大沼国定公園 → 昭和新山の散策 (8:30～12:50)
- 3). 洞爺湖のほとりにて昼食 (13:00～14:00)
- 4). アパホテル<札幌> 到着後 自由時間 (16:00～)

1.3 5月23日(旅行3日目)

- 1). アパホテル<札幌> 出発 (9:00)
- 2). 札幌市内車窓観光 (9:00～10:20)
- 3). 小樽市内にて自由時間 昼食込み (10:20～13:15)
- 4). 新千歳空港 発→羽田空港 経由→高知龍馬空港 到着 (14:30～20:10)



株式会社 第一コンサルタンツ 2015.5.21 史跡五稜郭



株式会社 第一コンサルタンツ 御一行様 北海道の旅 2015.5.22

2. 北海道社員旅行内容・感想

2.1 1日目

天気は少し曇りがちではあったものの、雨が降ることなく函館観光を楽しむことができた。1日目の中でも印象に残っているのは、「五稜郭タワー」と「函館山 100 万ドルの夜景観賞」である。特に「函館山 100 万ドル夜景観賞」では、今まで見たどの夜景よりも素晴らしいと言えるほど、圧倒的な光景であった。その後ホテルに帰ってきてからは、ゆったりと温泉に入ることでもでき、気分よく就寝することができた。函館に到着してからのバスの移動時間も短く、また、バスガイドさんの話のおかげか、移動中も無駄な時間を感じない1日目だった。



図1 五稜郭タワー

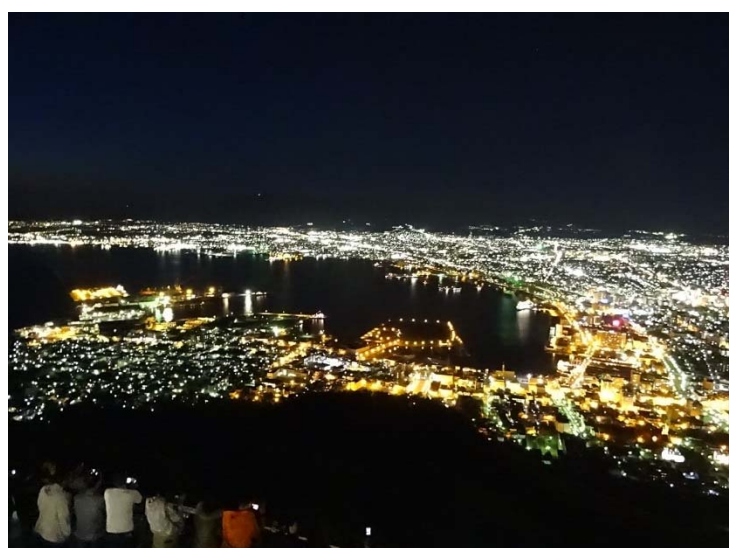


図2 函館山からの夜景

2.2 2日目

昼前に少し天気がくずれたものの、2日目はほとんどがバス移動であったためあまり支障はなかった。合計移動距離 300km 程をバスの中で、時には睡魔に負け、時にはガイドさんの話を聞き、窓の外を眺めながらすごした。

この日は朝に、1日目に行った「函館朝市」にもう一度行きお土産等を買う時間があった。朝市の店の熱気つい身を引いてしまいがちではあったが、最終的にはお店の人と仲良くなり、両親に北海道の海の幸をお土産として郵送することができた。

その後の大沼国定公園では短い時間ながらもボートにのって見学を行い、有意義な時間をすごせた。昭和新山では時間があまりなかったため、山を背に第1班全員で集合写真をとった後は、集合時間までお土産売り場を徘徊した。札幌までのバスの時間を睡眠にあて、札幌市内観光の準備を整えたおかげか、夕方からはゆったりとした観光時間を楽しむことができた。



図3 朝市での買物風景



図4 大沼国定公園のクルージング写真

2.3 3日目

この日は旅行1日目、2日目より気温が高く、半袖の観光客もまわりでチラホラと見かけた。小樽の観光をする時間が約3時間あったため、いろいろな場所に行くことができた。中でもガラスをメインとしたお店が多く、その綺麗さから、仕事のデスク付近に置く携帯スタンドを購入した。その他お土産の品もたくさん購入することができ、名残惜しくも、旅行プラン最後の北海道観光が終わった。



図5 購入した携帯スタンド



図6 小樽での昼食（海鮮丼）

3. 旅行を終えて

今回の旅行では、昨年度の入社1年目の時よりも多くの人と話し、また、一緒に行動することができた。普段仕事を通して見る上司や先輩、同期の顔とはまた違う一面を見ることができ、とても貴重な、そして楽しい3日間を過ごすことができた。

北海道社員旅行報告書
(2015 年 5 月 21 日～23 日)

橋梁構造課 矢田 康久

1. はじめに

北海道は2度目となるが、今回訪れる地はいずれも初めてであった。私が社員旅行に参加した目的は、参加メンバーとの親睦を深め、非日常的な空間に身を置き、北海道の風景、食、文化、歴史に触れることであった。

2. 旅程

今回の旅程は以下のとおりである。

5月21日(木) 函館(朝市～トラピスチヌ修道院～五稜郭～函館山～湯の川温泉)

5月22日(金) 函館(朝市)～大沼国定公園～昭和新山～札幌

5月23日(土) 札幌～小樽

3. 報告

【5月21日】

羽田経由で函館空港に到着したのは、正午過ぎであった。函館は少し肌寒いが心地よい気候であった。昼食を取った函館朝市は、観光地らしく売り手の押しが強いのが印象に残った。昼食は海鮮丼とビールを堪能したが、早朝からの旅程で空腹であったこともあり、とてもおいしく感じた。風が強く、非常に寒かったのはさておき、函館から望む津軽海峡は太平洋とは異なり、どこか寂しげな印象で風情があった。

トラピスチヌ修道院を経て五稜郭に到着した。道中、せっかくなので携帯で五稜郭を検索し、歴史の勉強をした。私は幕末の志士の中でも新選組の副隊長が龍馬以上にお気に入りなので館内の資料に目を通していただくとあっという間にバスの時間となった。

五稜郭を後にして湯の川温泉で宴会後、函館山に夜景観賞に向かった。ガイドさんの話によると霧がなく非常に幸運とのこと、確かに夜景はきれいだった。

初日の夜は、繁華街も遠いこともあって麻雀で親交を深めた。麻雀の魅力は、ゲーム性だけでなく人間性も垣間見られるところである。麻雀の順番待ち時に入った旅館の温泉は、この旅の中でも最上位の満足感を味わえた。

【5月22日】

初日の昼食と同様、朝市に向かった。朝市では一羽の鳥を巡ってウミネコなのかカモメなのかで皆で検索した。結果、オオカモメだろうとの結論となった。今の時代はとても便利だと感じた。

函館を後にして、大沼国定公園を経て昭和新山で昼食をとった。石狩鍋と焼きホタテはとてもおいしかった。移動中の車窓からの風景は、前日の麻雀のせいもあり爆睡して、ほとんど見る事が出来なかったが北海道の雄大な自然を感じることができた。途中、開通を目前にした新幹線の駅を見ることができた。列車好きである4歳の長男を早く新幹線に乗せてあげたいなと思いを馳せながら札幌に到着した。

札幌では、時計台や赤煉瓦庁舎などを見て回った。夜はススキノを見物しながら居酒屋でアスパラやじゃがバターなどを堪能した。初日の疲れもあってこの日は夜も早々に眠りについた。

【5月23日】

最終日の小樽では、広井勇先生の設計した港を見学し、ガラス細工の土産物を見て回った。昼食は、観光地から少し離れた有名寿司店を物色している最中、地元の方にどこがおいしいか訪ねて近くの寿司屋に入った。とても雰囲気の良い店で大将と女将さんと少しお話もさせて頂き、旅の気分を満喫できた。

最後に小樽運河を見学し、小学5年生になる長女には定番の One ピースパズル in 小樽運河をお土産に買った後、一路バスは千歳空港へと向かった。

4. おわりに

旅が終わると一つ成長した気持ちになる。家族と久しぶりに会うのも楽しみであり、今回の旅行もとても収穫あるものであったと思う。来年も参加できるよう頑張っていきたい。ー以上ー

北海道旅行

橋梁構造課 矢野 光明

1. はじめに

5月21日～23日、2泊3日の北海道旅行に参加しました。プライベートを含めて、3回目の北海道となります。おいしい物を食べられることを期待して、いざ出発。

2. 函館にて

函館では、函館の夜景が特に印象に残っています。ホテルでの宴会後、函館山からの夜景を見ました。視界が悪いことがあるようですが、当日は視界がよく、函館の100万ドルの夜景を堪能しました。ただし、風が強く非常に寒かったです。



函館の夜景

3. 札幌にて

札幌は、大通公園を境に南北方向に、創成川を境に東西方向に分かれて通りの名前が付けられています。各交差点には、位置を示す表示があり、現在どこにいるのか分かり易くなっています。

フリータイムでは、札幌ドームにプロ野球観戦(北海道日本ハムファイターズ VS 福岡ソフトバンクホークス)に行きました。球場内の雰囲気

気を生で感じることができ、試合内容もおもしろく、興奮しました。



札幌ドームでの野球観戦

4. 小樽にて

小樽では、広井勇博士が建設した日本初のコンクリート製の防波堤を見学しました。100年以上も荒波に耐えて今も当時のまま存在していることに驚きました。



小樽港の防波堤

5. おわりに

今回の北海道旅行は、あっという間に過ぎてしまった感じです。食べ物がおいしく、リフレッシュもでき、良い旅行となりました。

函館・札幌の景色

橋梁構造課 大和田 菊代

1. 海を近くに感じる函館

高知を発って約 4 時間後、テレビ番組などでよく見る夜景が有名な函館に到着しました。夜景のようにきらびやかな街を思い浮かべていたのですが、車窓から見たのは少し古さを感じる町並みでした。函館駅周辺などにはビルもありましたが、頑丈そうなものと見るからに老朽化が進んだ建物が混ざり合っています。

しかしその町並みだからこそ、函館山からの夜景はどこか優しく、柔らかく瞬くのでしょうか。そして左右から迫る津軽海峡の漆黒が光を収束させているようでとても美しいです。

函館山への道中はカーテンの無い窓から照明がもれている会社がたくさんあり、時間外営業中かと思ったのですが夜景のために点灯したままにしているようで、歴史的建造物をオレンジ色にライトアップしたりと函館は計算して作られた夜景だと感じました。

宿の温泉は海に面した露天風呂ということので楽しみにしていたのですが、夜なので海は暗く白波が見える程度。それでも、瀬戸内海よりは強く太平洋ほど荒くない波音と涼しい海風の中で一時間ほど入浴し至福の時を過ごしました。



宿泊先から見える景色

2. 開拓で整えられた街、札幌

政令指定都市で人口は全国で 4 番目に多いという札幌市は、高低差のない一面の平地が、住宅群とビル群で埋まっているという第一印象でした。しかもそれらは、京都を参考にしたという区画整備により約 100m 四方程度で格子状に分けられており、南北は大通り公園から東西は創成川を境にナンバーリングされています。位置が分かりやすく迷いにくい利点はあると思いますが、少々味気なさを感じます。地図上で何番まであるのか追ってみたところ、あくまで探せた範囲ですが予想よりずいぶん多く、北 50 南 36 東 29 西 15 が確認できました。



札幌市内の Google マップ 交差点に番号表記がある



サッポロビール



札幌市内を観光したなかで、旧北海道庁と札幌時計台の壁面にサッポロビールでお馴染みの星マーク（五稜星）を見つけました。

どうやら、明治の開拓史時代の開拓史旗（北辰旗）がこの五稜星であり、その当時発売された北海道初のビールのラベルにも使われたことなどから、切っても切れないシンボルなのでしょう。



現在の北海道旗はこの開拓史旗（北辰旗）を由来とし 1967 年に制定されたもので、北海道の歴史は開拓の歴史なのだと気付かされます。



開拓使旗（北辰旗）1872 年～1882 年



北海道旗 1967 年制定

JR 札幌駅南側の大時計にも星がちりばめられており、建物の近代的構造とあいまってテーマパークのゲートのような可愛さがあります。

JR タワーからの整えられた街の夜景は四方に延々

と広がっており、函館とは全く違う力強い光景でした。

3. おわりに

今回旅をしたのは、北海道南西部の有名観光地のみでしたが、それでもやり残したと思うことがたくさんあります。

それほど広大で自然と触れ合え、一方でネオンきらめく都市もある魅力の詰まった土地であり、道民の方も穏やかな印象を受けました。

心身共にリフレッシュできたものでしたので、必ず再び訪れたいです。



函館の夜景（上）と札幌の夜景（下）

北海道研修旅行

設計二部 橋梁構造課 西森哲也

はじめに

今回 5/21～5/23 の 2 泊 3 日で北海道研修旅行へ行ってきた。自分にとって初めの北海道である。

5 月 21 日（1 日目）

朝 7 時半に高知龍馬空港を出発し、羽田空港を経由して、函館空港に到着。まずは函館朝市で店主のテレビショッピングの様なお土産の説明を聞きながら、海鮮丼の昼食。その後は五稜郭公園、修道院を見学し、宿泊先の湯の川温泉に入った。宴会後には函館山に登り 100 万ドルの夜景を鑑賞。この日は運が良く、雲も霧も無い、とてもきれいな函館の町を見ることが出来た。



（写真は五稜郭タワーから望む函館市内と奥に見えるのは青森県）

5 月 22 日（2 日目）

この日は函館から札幌市内まで行くためバス行動がメインで半日以上バスでの観光であった。まず向かったのは函館朝市。昼間行った初日とは違い、朝はとっても活気があった。この日の昼食は天然記念物である昭和新山の近くで郷土料理の石狩鍋を頂いた。あまりのおいしさにビールを飲み過ぎたことは今回の旅の反省点である。夕方からは自由行動で、札幌ドームへ。球場の大きさと間近での観戦で終始興奮した。その後

はすすきのへ行き、人とお店の多さに圧倒されながらも、とても楽しむことが出来た。



（写真は天然記念物である昭和新山）

5 月 23 日（最終日）

最終日はまず札幌市内を車窓観光。あの有名な札幌の時計台を楽しみにしていたが、自分の座っていた座席の反対側であり、ちゃんと見る事が出来なかった。今回の旅行での唯一の心残りである。その後は小樽市内を観光。地元の清掃のおじさんと出会い、楽しい話をして頂き、おすすめのお店をたくさん教えて頂いた。おかげで最後の観光地をとても楽しむことが出来た。

感想

初めての北海道旅行はとてもいい経験となった。北海道は高知県の約 11 倍の面積がある。今回の旅行はほんの一部の観光であり、やり残したこともあるので、北海道にはまた行きたいと思う。また、初日からずっとバスガイドを務めて頂いたエイチ・ビー観光の鈴木さん。今年で 70 歳とおっしゃっていたが、聞きやすい話し方とあの記憶力はさすがだと思った。自分も自分の仕事で「さすが」と言われるようにになりたいと思った。

最後に当社親睦会の方々、株式会社タビックスジャパンさん、エイチ・ビー観光株式会社さん、今回は 2 泊 3 日の貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

三度目の北海道社員旅行

明坂宣行

■はじめに

過去の北海道旅行は、広大な大地でのゴルフやジンギスカンのバイキング料理で満腹感を味わったことなど、観光以外でも楽しい印象が残っている。今回、ちょうど札幌ドームで野球があるなど楽しみに参加した。また、過去二度の旅行では、本場北海道の札幌ラーメンにたどり着けなかったため、今回の狙いでもあった。

■観光地編 どこも中国・台湾人が多かったが、ここでは印象に残るものを記す。

□五稜郭タワー

五稜郭は北方防備を目的とした要塞で、1.8 kmの堀で囲まれた星型の国の特別史跡である。ここで五稜郭や周辺を見渡せるタワーが良かった。スカイツリーへ二度、台湾の taipei101 にも上がった私にとって、高さは 100m 程度で大したことはないだろうと思ったが、五稜郭を中心とした眺望は見事だった。ふと、坂本龍馬を絡めた遠望をと・・・、桂浜が浮かんた。



タワーから眺めた五稜郭



決して高くない五稜郭タワー

□函館山夜景

湯の川温泉での宴会の後、山頂にバスで登って夜景を見た。気温が低かったこともあり、見透しが良く素晴らしい夜景であった。海に挟まれた函館の市街が一



望でき、山頂から扇状に広がっていた。山頂は夜にも関わらず、多くの観光客で溢れていた。ただし、100万ドルの夜景と謳っていたが、過去の旅行で行った香港の夜景の方が、もっと迫力があつた気がする。

□大沼国定公園と洞爺湖

大沼湖でクルージングを楽しんだ。小雨が降ったこともあったが、時間的にもちょうどであった。大沼湖は、駒ヶ岳噴火の土石流により堰き止められてできた湖で、結構な広さであったが、水深は意外と浅く最大でも 12m 程度との説明であった。クルージングは、大沼湖と隣接する小沼湖を通り、時速 60 km 程度と大変爽快であった。駒ヶ岳を背景とした景色は北海道らしく雄大であった。

他には道すがらの洞爺湖も素晴らしかった。同湖は周囲 43 km、深さ 179m でスケールが一段と大きく、大島を中心とし弁天島などを擁している、とガイドさんから図を用いた説明があった。



9人で乗ったモーターボート



写りは悪いが絶景の駒ヶ岳

□小樽港防波堤

廣井勇先生が建設の陣頭指揮を執った小樽港の防波堤を見学した。外海の大波に耐える防波堤として、明治時代に建設されたことは日本の土木技術を証明する快挙である。前段で古川勝之氏から話を聞いていたが、現地で見ると堤防延長の長いことや、重厚な断面の大きさなど肌で感じる事ができた。

港に隣接してケツ製作ヤードが原形のまま残されていた。港修築工事後半に考案され、ケツの重さを利用した斜路式の進水方式で、製造の簡素化や

経済性に優れていたとのこと。これらは、土木学会選奨の土木遺産として登録されている。



小樽港の防波堤



斜路式ケーソン製作ヤード

■雪対策施設編

目に付いた雪対策施設を紹介する。一つは高速道路の路肩や分離帯に鉛直に立てられている白と緑のポールである。ガイドさんに聞くと路側の表示と積雪深を知るためとのこと。もう一つは、小樽市街の斜面で見られた雪の落下防止。地元の方に聞くと「雪よけ」とのこと。後でみるとこれも高速道路の斜面に見られた。この他、一般道でも違ったタイプの視線誘導施設が多く見られた。要するに、シーズンになると雪が大量に降り、積もるということである。



路肩の視線誘導ポール



千島に配置された雪よけ

■食編

本場での石狩なべと味噌ラーメンを堪能した。石狩なべは、洞爺湖の畔の土産物屋の2階で、昼食として四人で鍋を囲んだ。鮭と味噌で味付けされた鍋もさることながら、明るいうちに飲むサッポロビールは最高であった。

味噌ラーメンは旅行中、二回食べた。いずれも、濃厚な味噌だれの汁と黄色の縮れ麺に満足した。



昭和新山、石狩なべの昼食



本場札幌での味噌ラーメン

■スポーツ観戦編

私はプロ野球のホームスタジアムを踏破したいと考えていて、昨年千葉マリナーズに引き続き、今回札幌ドームを経験できた。ここのドームは、3塁側がホームベンチで他と逆であること、固定のバックスクリーンがないこと、などの特徴があった。試合は、トップ争いする地元日本ハムがソフトバンクを迎えたもので、エースの大谷が先発し、中田のホームランなどもあり日本ハムがサヨナラ勝ちで、大変な盛り上がりであった。立派なドームではあったが、私はやっぱり吹き抜ける風を感じることができるスタジアムが好きだ。



Jリーグも使う札幌ドーム



千葉マリナーズホーム時の花火(昨年)

■おわりに

今回旅行での失敗は、一日目が想定以上に寒く、厚手の上着など準備が不十分であった。夜の函館山など気温を甘く見ていた。やっぱり北海道は、北海道である。

出発直前、田中課長が体調不良で急遽参加できなくなった。本人も大変なことであったと思うが、残念なことであった。私は、直前に健康診断を受け、安心して参加できた。

千葉から高知にお嫁に来た添乗員の溝渕さん、豊富で正確な知識を持ち若々しいバスガイドの鈴木さん、には大変お世話になった。また、運転手の高島さんは、函館山への狭くてヘアピンカーブの連続した登山道ではさすがのハンドルさばきであったし、携帯の充電などでもお世話になった。

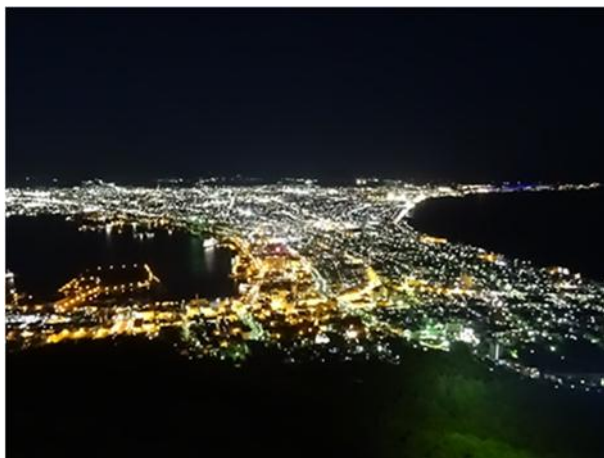
今後も年に一回、海外も含め皆と旅行に行きたいものである。親睦会の皆様、段取りを含め何かとお世話になり、ありがとうございました。

社員旅行レポート

地盤防災課 松本洋一

第一日 函館

北海道は、社員旅行を含めて5回目の訪問となるが、函館市を訪れるのはこれが初めてである。東京－函館の機内は、ほぼ満席であった。しかし意外にも、空港から昼食会場の函館朝市に向かうバスの車窓から見える市街は、空き家やシャッター街が目立っていた。曇り空で肌寒く、朝市でのやや強引な客引きなどもあるが、函館の第一印象は、少しネガティブなものであった。五稜郭、トラピスチヌ修道院を巡る頃には天候も回復し函館の良さを感じることができた。特に函館山からの夜景は素晴らしかった。函館山の適度な高さで陸繋砂州の地形に広がる市街地の明かりが絶妙なバランスとなっており、世界三大夜景とも呼ばれる所以を感じることができた。函館山麓の外国人居留地は再開発が進んでいるようであり、夜景も含めて見所があると感じた。一日の最後は、津軽海峡の渚が見える露天の大浴場で疲れを癒やすことができた。



天候に恵まれ素晴らしかった夜景（奥村カメラマン）



渚が見える癒やしの大浴場（ホテル HP）

第二日 函館～札幌

二日目は、函館から噴火湾に沿って大沼、洞爺湖、昭和新山を巡るバスの旅であった。噴火湾の地形や周辺の火山の分布、有珠山の噴火履歴、そして現地で昭和新山を目の当たりにすると、大規模な火山噴火がいつ起きても不思議でないことをあらためて考えさせられた。同時に、このようなリスクの中で観光等を営む人間の力強さも感じた。昭和新山の麓の案内所では、洞爺湖有珠山ジオパークや火山ハザードマップの情報を得ることができた。



奇跡の山 昭和新山での集合写真



有珠山火山防災マップ^o（豊浦町 HP）



噴火湾周辺のスペースシャトルからのレーダーイメージ (2000 年 2 月 17 日、毛利衛らによる Shuttle Radar Topography Mission)

第三日 札幌～小樽

小樽では、小樽港建設の歴史が見られる「おたるみなと資料館」を訪れたが土・日閉館日で、見学できなかった。多くの観光客で賑わう町並みを見るにつけ、この港（防波堤）がなければ、今日の繁栄があり得なかったことを想い、すばらしい土木遺産や資料館が観光資源として活用されていないことが残念であった。今回訪れた観光地では、中国、台湾等の観光客がほとんどを占め、日本人観光客はあまり見られなかった。その購買意欲はすさまじく、今や日本の観光産業を支える存在であることを目の当たりにした。しかし、有名な観光地巡りやショッピングだけでは、いずれは頭打ちになるであろう。今後の観光産業は、成熟した日本人観光客や、日本のことを深く知りたいと考える外国人観光客にも、満足を与える工夫が必要であり、切り口として土木遺産の活用は有効である。広い湾口と防波堤をバックに広がる小樽の街は、土木構造物が全ての礎となっていることをわかりやすくイメージでき、格好の教材や観光資源になると感じた。また、何もないところから、未来の繁栄を想像しながら仕事を続けたであろう広井勇先生をはじめとする先人の先見の明をあらためて感じる事ができた。



小樽港南防波堤をバックに記念撮影



おたるみなと資料館（土日閉館）

旅のおみやげには、解禁したばかりの小樽産生ウニを購入した。新鮮なウニは、これまで食べたことがないおいしさで家族にも好評であった。やはり、その土地の旬の食べ物は旅行の楽しみである。



旅のおみやげ

今回の旅行は、事前の情報収集等をする間もなく出発を迎えた。移動時間が少し長かったが、ベテランガイドさんの流暢なガイドを聞きながら、車窓の景色をゆったりと楽しむことができ、良い気分転換となった。企画準備していただいた親睦会ははじめ、関係の皆様に感謝致します。ありがとうございました。

以上

今年の社内旅行は、北海道で私は第一班で参加しました。私は、北海道は、初めてです。が、カニ、イクラ、貝が駄目な私は、一生行く事が無い土地だと思ってました。今回は、カニやイクラは、殆ど無かったですが、1つ残念な事が、楽しみにしていた美味しいジャガイモが食べられなかった事です。

初日は、高知空港から移動を開始して、昼には函館観光に行きました。乗り換えを入れて4時間30分で着きました。

函館は、五稜郭～トラピスチヌ修道院、100万ドルの夜景まで行ってきました。

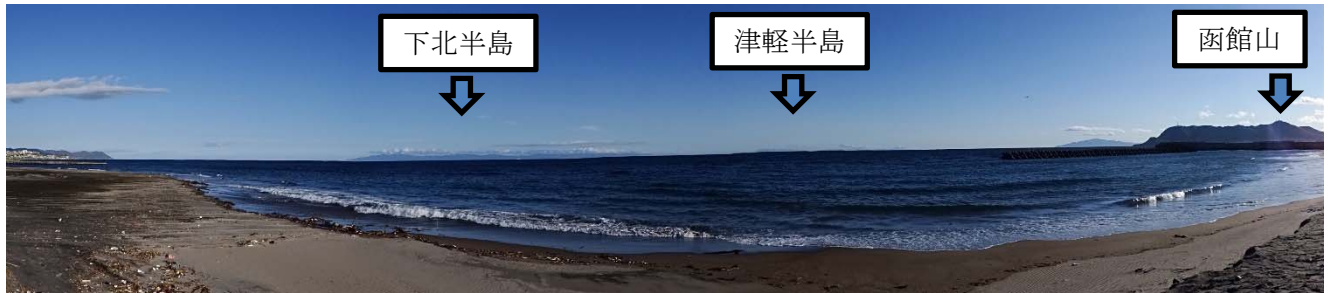


写真 1. 津軽海峡



写真 3. 函館夜景

2日目は、大沼国定公園～昭和新山～札幌で、札幌への移動経路の途中にある所で休憩がてら、観光するものでした。夜は、フリータイムで札幌市内を観光しました。札幌時計台～旧道庁～JRタワーと明るい内から夜のライトアップまで堪能しました。



写真 4. 旧道庁



写真 5. 旧道庁

3日目は、小樽市内の観光でガラス細工やオルゴールに全く興味が無い私は、1人市内を散策して来ました。残念ながら、北防波堤には行けませんでした。小樽の古い石造りの街並みは、大変良かったです。

次回、北海道に来る機会があれば、1箇所1箇所に時間を掛けて巡りたいと思います。



写真 6. 小樽運河



写真 7. 北防波堤



写真 8. 路地裏にて（詳細不明）



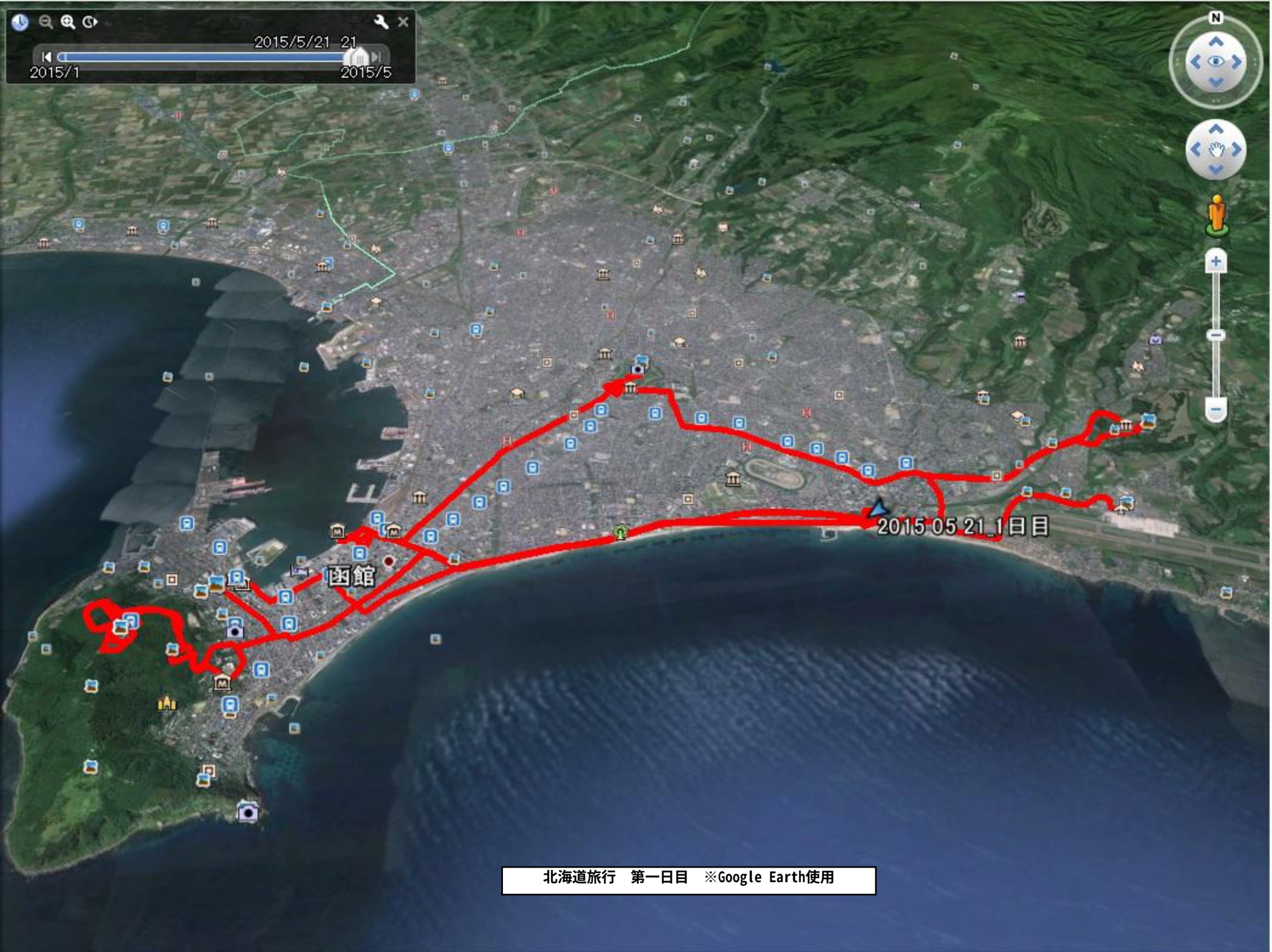
写真 9. 小樽市内



写真 10. 路地裏にて



写真 11. 昼食後の珈琲

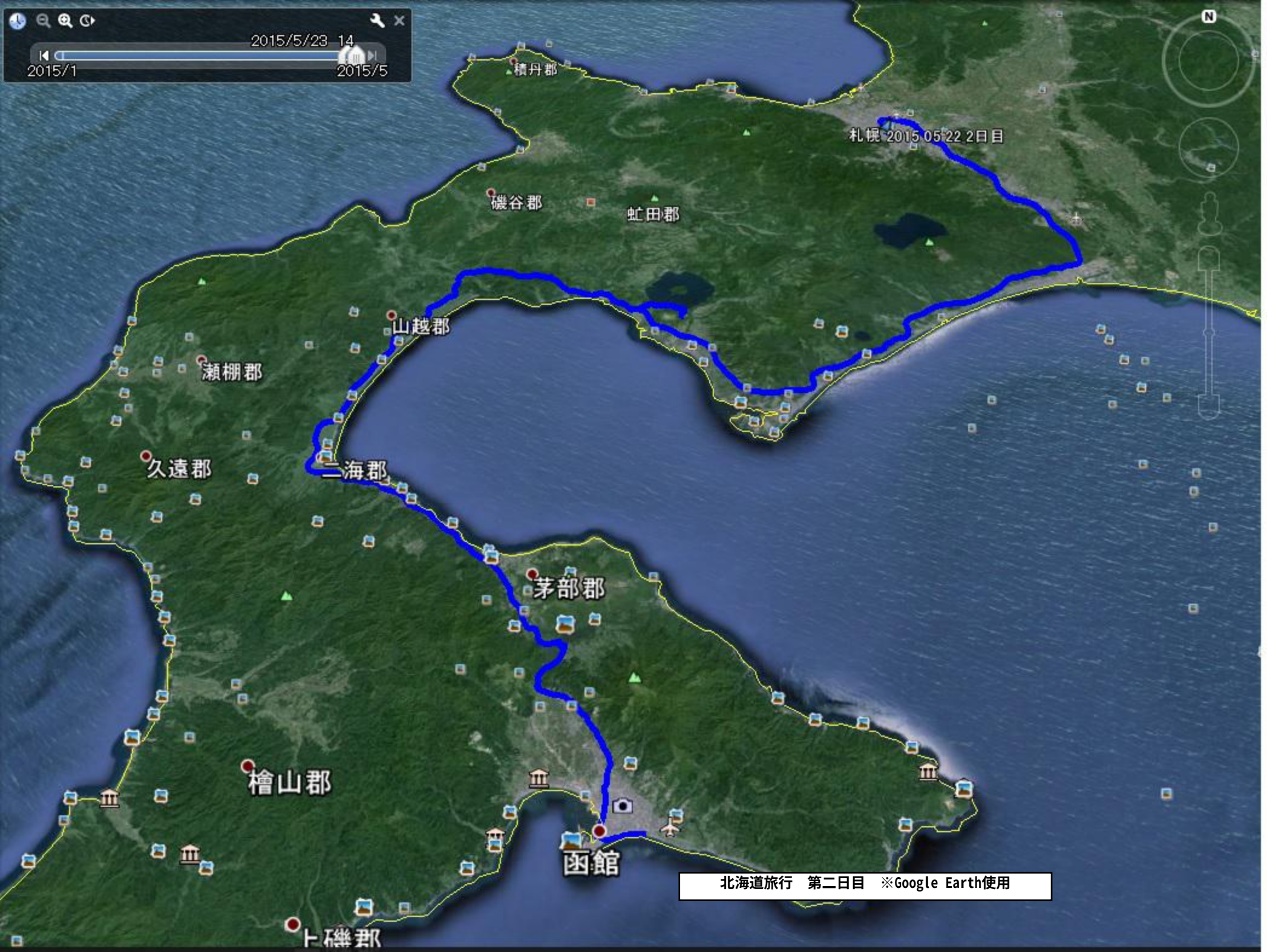


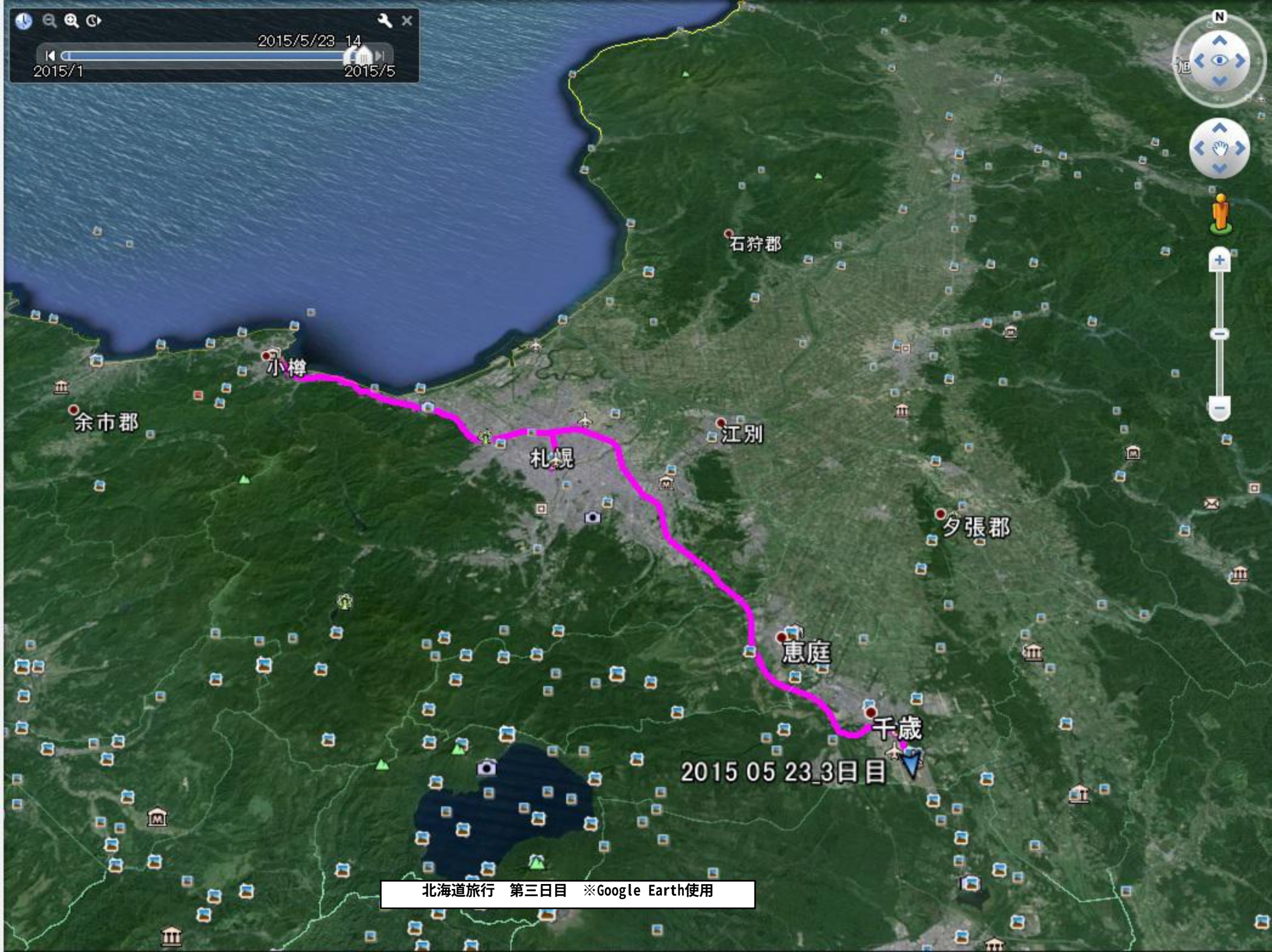
2015/5/21 21
2015/1 2015/5

2015 05 21_1日目

函館

北海道旅行 第一日目 ※Google Earth使用





2 泊 3 日の北海道社員旅行

設計一部 地盤防災課

橋口 理沙

1. 1 日目(函館)

5 月 21 日に到着した北海道の千歳空港は曇りで、肌寒い天気でした。

昼頃に到着予定で春先の気温と聞いていたので軽装で来てしまい、少し後悔した北海道の初日でした。

函館の朝市で昼食を食べ朝市周辺を散策した後、五稜郭とトラピスチヌ女子修道院を観光しました。



修道院の礼拝堂と司祭室

この修道院に入った修道女は、8 年の修行の間に心変わりがあれば出て行くことが可能ですが、心変わりもなく修行を継続する意思があった場合、親が病気になった時、親が死んだ時、自分が病気になった時以外はローマ法王の許可がないとこの修道院から出ることは許されないそうです。

朝 3 時半に起床し、夜 7 時に就寝。日中私語は厳禁のため修道女同士の会話は 200 余りの身振り手振りで済みますそうです。

「俗世が嫌になったら、こういう所で生きていくのも良いなって思うようになるのかな。」などと女の人達と修道女の方の心情を考えてみたりしました。

同じ女性でも色々な生き方があるなと思いました。私は俗世が嫌にならない程

度に、でもできるだけ真面目に生きていきたいと思いました。

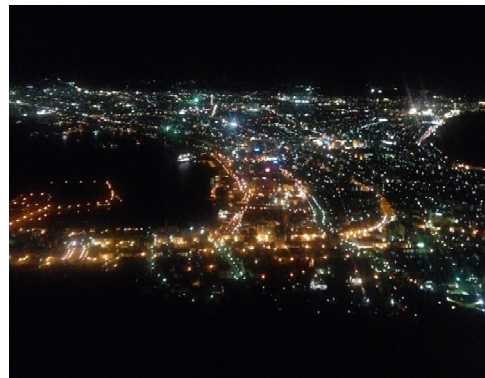


慈しみの聖母マリア像の前で記念写真

2. 1 日日夜(函館の夜景)

その後そのまま旅館に向かいました。旅館は 3 人に一部屋の和室で何だか修学旅行のようで懐かしい気持ちになりました。

早めの夕食後、函館 100 万ドルの夜景を見に行きました。ガイドの方が、夜景の中にカタカナで「ハート」という文字を見つけると女性は幸運が訪れる。または恋が成就すると教えてもらいましたが、残念ながら見つけることはできませんでした。



快晴の函館の夜景

帰宅後、旅館の温泉に入りました。旅行前にひいた風邪のせいであまり気分が悪くなっていたのですが、温泉であたたまったおかげで久々に気持ちよく眠る事ができました。北海道初日は寒かったけれど、函館を満喫した一日でした。

3. 2 日目(札幌)

二日目の朝は、再度朝市へ向かいしました。買い物目的だったのですが私はあまり買い物せずに終わりました。はるばる行った北海道でもっとユニやかにを買えば良かったと帰ってきて後悔したので、次回北海道に行く機会があれば、是非沢山買い物しようと思います。

その後は大沼国定公園と昭和新山を観光した後、洞爺湖で石狩鍋を食べて、高速で札幌へ向かうルートを取りました。

大沼国定公園にはわずか 30 分程度しか見ることができませんでしたが、高知にはない広大な自然と湖がすごく綺麗でした。



大沼国定公園にて記念写真

普段自然の多い高知で暮らしているけど、自然を感じるような所には最近行ってないことに気づきました。

高知に帰ったら、高知の山や川で遊んでみたいとなりました。



クルーザーに乗った人が撮ってくれた私達

札幌に到着したのは夕方 16 時頃で、そこから札幌観光することにしました。大通り公園を通りながらテレビ棟へ向かい、その後時計台で記念写真を撮りました。

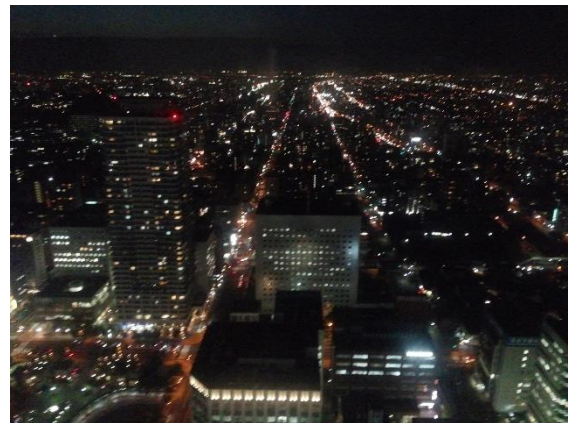


時計台にて記念写真

道庁と赤煉瓦テラスを通りながら、札幌駅の札幌ステラプレイスに入り、そこで夕食にスープカレーを食べました。

食べ終えた頃、時間的に暗くなりつつあったので、ガイドさんおすすめの JR タワーへ夜景を見に行きました。

JR タワーの 38 階へ上ると、函館の夜景とは違った都会的な夜景が 360°全方位に広がっていました。



JR タワーの夜景

格子状に作られた札幌の街は、道路が線状に輝いてとても綺麗でした。東京ほど人が急いでなくて、都会なのに時間がゆっくり流れていて、私は札幌が好きになりました。

少し高知に帰るのが寂しくなっていました。

4. 3日目(小樽)

札幌の夜をそれなりに楽しんで、その翌日の北海道最終日は小樽運河周辺で買い物をしました。

北一ガラスや六花亭等の有名なお菓子屋さんが軒を連ねており、それまで買い物をしていなかった分を沢山買い込みました。



小樽運河周辺の道で記念写真

買い物時間はあっという間に過ぎてしまい、最後の買い物は千歳空港ですませて、夕方 16 時半の飛行機で東京へ行き 17 時 40 分の便で夜 20 時半頃高知へ帰ってきました。

5. 北海道旅行を終えて

あっという間に過ぎた三日間でした。北海道の大自然と都会的な部分に触れることができ、とても楽しい旅でした。

社会人として、第一コンサルタントで働き始めて 3 年目に入ろうとしています。

毎日が充実している今の生活ですが、仕事に専念していくうちに、周りが見えなくなり、狭い視野で物事を判断していたことに気がきました。

今回の旅行を通して、普段とは異なる体験をすることで、様々な価値観やあり方を受け入れ、より自分の視野を広げて行

くことは心を養っていくうえで重要であると分かりました。

これからも、様々な経験を積み、人間としての資質を増やしていくために仕事を一生懸命こなし、沢山のことに挑戦していきたいと思います。

設計一部 地盤防災課

西川 泰治

社員旅行レポート

今回は社員旅行に参加させていただき、誠にありがとうございました。
私自身北海道は初めてであり、今回の社員旅行でさまざまな貴重な体験をさせていただきました。

私が行った5月21日からの3日間の北海道の天候は、函館港で強風にあおられたり、大沼公園周辺で一時小雨が降るなどありましたが、観光に支障をきたすような天候にはならなくて安心しました。気温の方も個人的に想像してたほどは寒くなく、過ごしやすかったと思います。3日目に行った小樽では暑く感じるほどでした。初日の函館山からの夜景観賞は、この時期としては幸運にも絶好の夜景鑑賞日和であった為、とても綺麗でした。

ところで2日目の札幌での自由行動で、私が行った場所は

- ・すすきので衣服などの買い物
- ・すすきののスープカレー専門店で夕食
- ・藻岩山に登り夜景観賞
- ・JRタワーまで歩く
- ・すすきののドンキホーテで買い物

というハードな内容でした。

藻岩山からの夜景観賞は、函館山の夜景とはまた違った壮大感のある夜景を楽しむことができました。その後にJRタワーへも行きましたが、ちょうど閉館の時刻に到着してしまい、残念ながら中へは入れませんでした。

3日目の小樽での自由時間では、お土産の購入を中心にお店を見回ったり、小樽の景色を撮影したりしました。ここでの昼食はラーメン屋へ。あえて私は「味噌」ではなく「塩」ラーメンを注文してみました。スープは塩ということであっさり系、一方麺は味噌ラーメンに合うコシのある麺であったので、個人的には違和感のあるラーメンという印象でした。

今回の旅行で特に感じたことは、どの観光地に行っても中国などアジアからの観光客で溢れかえっていたのが印象的で、あらためてその人の多さ、そしてマナーなど目の当たりにしました。

行けなかった場所、できなかったことなど何点かありましたが、次回北海道へ行く機会があればリベンジとして楽しみにしておきたいと思います。

2年続けて社員旅行に行けたことに感謝いたします。

親睦会、会社の双方が旅行に行く方針としていただいたこと、また行ける状況であることにも感謝いたします。

親睦会の委員の皆様には旅行の段取り等、全ての調整をしていただき感謝いたします。

旅行を円滑に進行していただいたタビックスの溝渕さん、また現地情報を余すことなく伝達していただいたバスガイドさん、急な便所駐停車を何度も対応し、安全運行をしていただいた運転手さん大変お世話になりました。

今年は旅行に行けず通常の業務をフォローしていただいた同僚の皆様、3日間の旅行に心よく送り出してくれた家族に感謝します。

本当にいろいろな条件とさまざまな周りの支援のおかげで、北海道で食いだおれ！北の都「函館・札幌・小樽」を満喫できたことを感謝いたします。

【食】3日間一食もはずれなし、北海道はレベルの高い食でした。

- 1日目 昼は新鮮な海鮮丼、夜は種類いっぱい、おなかもちっぱいの**宴会料理**。
- 2日目 朝はホテルで海鮮メインのビュッフェ、昼はちょっとピリ辛がおいしかった**石狩鍋**、夜は居酒屋でもつ鍋。なぜか注文した料理を残せば罰金があるとのことなので、こちらも満腹までみんなで完食。
- 3日目 朝はホテルで海鮮メインのビュッフェ。さすがに満腹が続いたので昼は**お寿司**少なめを選択。



【観光】国内ながら海外にきたような観光客の多さ、観光資源も豊かで観光地力が高い。

- 1日目 思っている以上に肌寒い。日本初の女子観想修道院トラピスチヌ。五稜郭タワーから見る美しい星形の**五稜郭公園**。宴会後にはビーチを眺めながらの露天風呂、肌寒かった気温がこんどは好影響で気持ち良い。函館山 100 万ドルの**夜景**は広がり方の造形がきれいさを増していました。
- 2日目 大沼国定公園では湖をボートでクルージング。麦畑が隆起した**昭和新山**。関東以北随一の歓楽街の札幌市内は居酒屋など料金が高知と比べ安くてびっくり、しかし客引きについていけないように放送が流れていました・・・少し間違えると割高な街に豹変する可能性があります。
- 3日目 札幌市内を車窓観光。歴史あふれる運河の街小樽、北一硝子、ルタオ・六花亭等有名本店が軒をつらねます。北のウォール街とよばれた日本銀行旧小樽支店では**1億円の重さ**やお札の偽造防止技術などを体験しました。残念ながら広井勇博士の資料館は休みでしたが、コンクリート製**長大防波堤**が 100 年の荒波に耐えて今も当時のまま使われていました。



最後に

今回の社員旅行は昨年の東京を超えるほど、親睦も深い思い出も深めた旅行となりました。



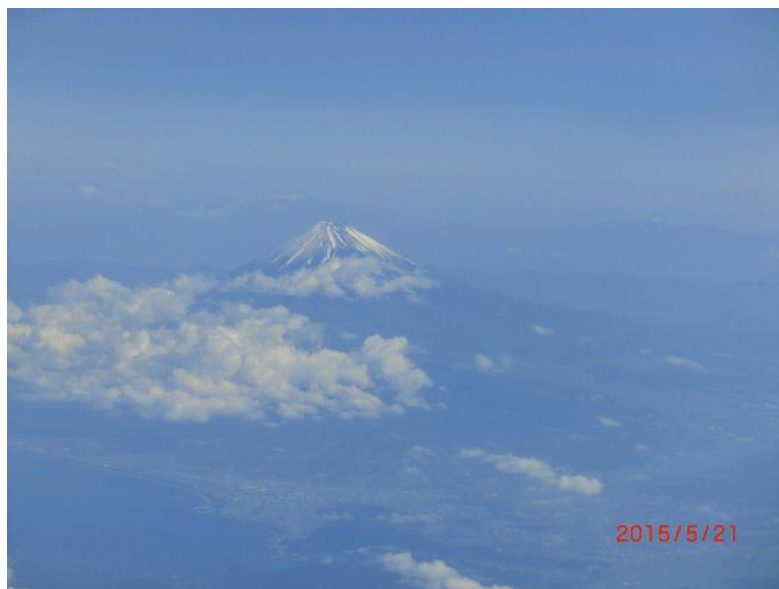
社員旅行 in 北海道

設計二部 空間情報課 大利 飛鳥

二泊三日の社員旅行、一日目はあまり天気にも恵まれず所々で雨に降られてしまいました。でも、あとの二日間は気温も上がりこの時期の旅行にはちょうどぐらいの暖かさとお天気でした。

一日目で印象に残ったことは、高知龍馬空港から羽田空港に向かう途中きれいな富士山が見られたことです。

普段飛行機に乗る事もないし地上にいるばかりなので見入ってしまいました。



函館に着くとランチの時間。やっぱりこれでしょう！海鮮丼！！

残念ながら写真を撮るのを忘れましたが、やっぱりイクラがおいしかった～♪

一日目の宿泊先のホテルでも朝ごはんをイクラとお刺身の丼にしまう程でした。

トラピスチヌ修道院や五稜郭を見て回りおみやげもしっかり買い込みました。



北海道はまだ桜が咲いているのにはびっくりし、高知との違いを実感しました。

一日目の締めは夕食後の函館山 100 万ドルの夜景でした。



さすが、100 万ドル！

その後、宿に帰り冷えた体を温泉で温めて部屋へ戻ると、冨永さん、小橋さんとともに二次会がスタート。一日目の感想を皆さんとお酒を交えて語りました。

二日目は函館市民の台所の朝市へ。



どこもかしこもかにや魚や貝ばかりで函館市民がうらやましい。

買い物も程々にバスは札幌市内に向けて 300km の大移動。

途中、大沼国定公園・昭和新山・洞爺湖でちょこちょこ観光してお昼は石狩鍋懐石？とビールがおいしかった～



札幌市内の宿泊先「アパホテル」に到着後はフリータイム♪



行ってきました札幌ドーム。

しっかり野球の応援もしてきました。やっぱり生で見るとは違います！

最終三日目、小樽市内で観光・お買い物・ランチ(海鮮丼)・ワインの試飲。忙しかったです。遊ぶのやお土産買うのに必死で三日間があっという間でした。



次はどこへ行くのかな？

旅行について

このたび初めて旅行に参加させて頂きました。有り難うございました。

契約社員の立場上、参加は少し厚かましいとは思いましたが社内行事には積極的でありたいと思い社員の皆様と楽しい時間を過ごさせて頂きました。

私個人としては蝦夷の地を踏むのは3度目で、函館や札幌は2度目になりました。

10年一昔で前回訪れたのは15年前ぐらい前と記憶していますが、札幌の町並みはさらに都市化、洗練されたイメージを持ちました。初日、今回はじめて訪れたトラピスチヌ修道院はその存在すら知らなかった私には衝撃でした。現在信仰に自由な私はガイドさんの説明を聞きながら修道生活とゆうものが想像できませんでした。またひとつ理解できていない価値観がここにあるのだなと思いながら併設されている資料館に入りました。そこには修道生活をされている修道女たちの生々しい生活の一部が写真等を用い表現されていました。目に焼き付いたのは長い西洋風廊下に修道女がひとり、その先の廊下突き当たりイエス十字架とゆう写真でした。なぜか非常に美しく想えました。

2日目で印象深かったのは支笏洞爺国立公園内にある昭和新山でした。ここを訪れるのも初めてで高さ175mの溶岩ドームに圧倒され、生々しく立ち上る白煙と自然の作り出す創造物に驚きと共に少し恐怖を覚えました。

最終日は小樽での自由行動でしたが特別に小樽港の外洋防波堤の方にバスで移動を助けて頂けるとの事で古川勝三先生から廣井勇さんの講演を頂いたばかりでしたので是非にと思い参加しました。バスは小樽港湾事務所の駐車場に止まり、土曜日なので展示資料等は見学できませんでしたがフェンス越しに防波堤を見学できました。

湾内でも風が強く細かく白波を立てている日本海は太平洋を身近に見なれている私には訳もなく環境が厳しい所というイメージを持たせ、これだけのものを作るに当たっては資料にも残らないたくさんの苦労があったのだろうなと想いました。

廣井勇さんはクリスチャンだと聞きました、トラピスチヌ修道女もそうですが純粋に一つのことを深めてゆく生き方に感動を覚えました。

バスでの移動が長く疲れを恐れていましたが体調も万全で記憶に残る有意義な3日間を過ごすことができました。

簡単ではありますが今回の旅行の感想とさせて頂きます。

設計二部 空間情報課

細川公二

社員旅行レポート

空間情報課

千葉 辰政

トラピスチヌ修道院・五稜郭公園、知識の無い私でも楽しむことができ、また大変勉強になる部分が多くありました。

大沼国定公園・昭和新山をはじめ、同じ日本でありながら、高知とは異なる自然にあふれ、実際に行ってみて初めて分かる北海道の雄大な自然を感じることができ、バスでの移動中でも車窓から見える自然の風景から目が離せませんでした。

大沼国定公園でのクルージングで湖から眺める駒ヶ岳はまた違った景色で貴重な体験をすることが出来ました。

函館山から見る函館の街の夜景は高知では見ることの出来ない景色でとても色鮮やかで感動しました。



また宴会の席では幡多支店の方々など、普段あまり会話する機会の無い方々とも会話を交わすことができ、普段よく会話を交わす方々も業務をこなしている時と違った一面を見ることができ、大変楽しく、親睦を深める良い機会になりました。

2泊3日の旅行でしたが、時間が経つのがあっという間に感じ、天候も大きく崩れることはなく、北海道の雄大な自然・文化歴史・美味しい食べ物など様々な事を充分に感じ・学び・楽しむことができ、とても有意義な時間を過ごせたと思います。また、北海道に行きたいと思える旅行になりました。



2015 年度

(株) 第一コンサルティング 社員旅行～北海道～

私は今まで北海道に行ったことが一度もありませんでした。

北海道は食べ物等はおいしいとイメージではありましたが、観光スポットはあまりイメージがわからなかったのでインターネットで事前に調べようかとも思いましたがおもしろみが無いので調べずに行きました。

調べずに行って正解でした。

まず函館朝市の活気に驚きました。美味しい海鮮丼を食べ朝市を少し回っていると行く店先々で商売をしている方が店前に立って、商品や特産物を勧めようと大きな声で道ゆく人々に話しかけていました。

次に五稜郭に行ったのですが展望タワーから見る五稜郭も、本当に星型できれいに整備もされていて感動したのですが、実際に歩いてみるととても戦争の産物だとは思えないくらい、風情があっっておもしろかったです。他の観光客の方は公園内の施設等にぎわっていたのですが、私は五稜郭の堀の内側にある土手の上を歩いていました。

地面は土のままで土手沿いに色々な木や植物を見ることができて、少し土手は小高いので五稜郭からの景色も見ることができました。初めあまり興味が沸かなかったのですが、自分で北海道に旅行に来た際には必ずまた五稜郭を歩いてみたいと思う程楽しめました。

大沼国定公園での散歩は少し時間が足りませんでした。

歩けば歩く程色々な景色を見ることができて、さらにたくさんの小島に架けられている橋も自然と合っていてとても綺麗でした。

そして、昭和新山を初めて見た時はかなり驚きました。

なんというか、とにかく近くまで登ってみたい気持ちでいっぱいでした。

ココでも少し立ち寄ったくらいの時間だったので昭和新山自体は遠くからみるだけでした。

後で調べると、とりにある有珠山での「外輪山遊歩道」というちょっとした

トレッキングコースがあり、噴火口を見たり展望台からの景色を見たりできるそうです。

最後に札幌市内を散策したのですが、とても道が整備されていておどろきました。

メインストリートや公園等は整備されていて当たり前なのですが、そうではない居酒屋や、スナックやキャバクラが混在しているビル街を歩いていても意外と道が広い所もあり不思議とゴミやタバコの吸い殻はあまり見あたりませんでした。

私が歩いていた場所がたまたまそうだっただけかもしれませんが。

今回の北海道旅行では、北海道の自然の魅力を知ることができてとても貴重な旅行になったと思います。高知からはかなり距離が離れていますが、個人で旅行に行く時には必ずまた北海道に行こうと思わせてくれました。

大変貴重な旅行に参加させて頂き本当にありがとうございました。

第一班 徳橋 蓮

■5月21日

午前6時50分に出発カウンター前に集合だったので、6時15分介良中野団地前バス停から空港連絡バスを利用した。平日始発便に連絡するバスにもかかわらず、ほぼ満席であった。

午前6時30分空港着。一番乗りかと思ったら、既に何人か集まっており、10番目くらいであった。札幌で会う予定の友人への手土産を2階売店で購入すると、大体集合時刻になった。朝食を採るつもりだったが断念。

調査二課の田中さんが体調不良で急遽欠席とのこと。全員で行けないのは少し残念。

添乗員と顔合わせの後、今日のスケジュールについて説明を受ける。飛行機の乗り継ぎが必要なため、かなり時間を要する印象だ。

高知竜馬空港から羽田へはB767型機に搭乗。晴天であったが、大気が不安定なためか良く揺れた。途中、富士山が綺麗に見えた。東京へは何度か飛行機で行ったが、これほど綺麗に見えたのは初めてではないだろうか。

羽田からはB777型機に搭乗。機内はB767より広く、快適に過ごせた。ただ、相変わらず揺れる。

空港ロビーでバスガイドさんと合流。そのままバスへ移動。バスガイドさんは71歳とのこと。大ベテランだ。空港に到着して初めてここが千歳でないことに気づく。行き帰りで経路が違うのか。

最初の目的地は函館朝市。ここで昼食をいただく。ウニは嫌いだが、ここでは美味しく食べることができた。店舗では海産物のセットを販売しているとのこと。かなり心は動くが、翌日も来るので買わない。店員さんとしばらくおしゃべり。こちらでは鈴木宗男の人气が高い。ロシアとパイプラインやトンネルを接続する計画があったそうだ。鈴木宗男が失脚してそれが果たせなかったとのこと。

タラバガニは韓国人に買い占められて、手頃な価格帯のものは入ってこないらしい。だから、やたら大きくて高いものしかないと言われる。

函館港から海を望む。夜景を見に登る函館山は以外と近い。とにかく風が強くて寒い。

行程を変更し、先に五稜郭へ向かう。タワーに登るそうだ。床の一部がガラス張りらしい。高いところが苦手な身としてはただの悪趣味な仕掛けだ。最上層へエレベーターで登る。五稜郭はサクラが終わってツツジやフジが咲いていた。堀の内側ほぼ全周にサクラが植えられている。もう少し早ければ相当綺麗だったのだろうと思う。一層下へ降りると、確かに床の一部がガラス張りだ。怖いので、ガラスの上には立てなかった。

タワーを降りて五稜郭を散策する。石垣が綺麗に積まれている。奉行所の建物は再現されたものらしい。中にも入れるようだが、入口がよくわからないので断念する。そのまま堀を渡って、元の場所へ戻る。土塁の上を歩く人たちがいる。堀で淡水魚の調査をしている人がある。観光客は大半が中国人、韓国人だ。

バスに乗ろうとすると、集合写真を撮るとのこと。五稜郭入口で撮影する。写真は有料なので、記念に購入。

トラピスチヌ修道院に向かう。観光する場所が固まっているので、バスの乗車時間は意外と短い。

バスガイドから修道院の成り立ちや概要の説明を受ける。院内の庭は綺麗に手入れされている。観光客が入れるエリアは限定されている。ここで生活している人たちは神に近づくために活動しているとのこと。修行期間は自由にやめられるが、8年以上居る人はローマ法皇のゆるしがないとやめられないらしい。朝3時半に起床し、5時間のお祈りと5時間の労働、8時間の睡眠だそうだ。そのうえ声を出してはいけないらしい。ほとんど刑務所みたいだと思う。神に近づくためとはいえ、そういう苦行を自ら望んで行うという心がけに感心する。まてよ、絶対に8時間の睡眠が確保されるのなら、コンサルより楽かも。

修道院から旅館までは30分程度か。部屋に荷物を置いてゴロゴロしてたら食事の時間になった。大広間に行くと、個人個人の膳が用意されていた。こういう形式は好きじゃない。食事は非常に多く、全て食べることが出来なかった。夜景を見に行くのでビールは控える。

食事を済ませ、再びバスへ。夜景の見える函館山へ向かう。春先は霞んで夜景が綺麗に見えないことが多いらしいが、幸い台風のおかげで空気が澄んでいる。今日は夜景が綺麗に見れるだろうとのこと。

カーブごとに夜景が広がる。確かに綺麗に見ることができた。頂上の展望台からは街の明かりが一望できる。でも人が多い。どう写真を撮っても観光客が写り込む。とりあえず人のいない方へ降りてみる。展望台の下に位置するところまで来ると、誰もいない。立ち入り防止柵があってこれ以上進めないが、夜景は綺麗に見れた。

宿に戻って大浴場に向かう。露天風呂は海岸線のすぐそば。非常に開放的で気持ちよかった。朝風呂はさらに気持ちいいだろうと予想しつつ、部屋に戻る。

■5月22日

少々寝不足のまま目覚める。出発までに食事を済ませるべく食堂へ。おかずやジュース類の種類が豊富で、かなり目移りする。ご飯味噌汁の和食で朝食を済ます。

再び函館朝市へ。タラバガニに心動かされるが、冷静に考えると、自宅の冷蔵庫には入りきらないことに気付き、購入を断念。そこらをぶらぶらすると、頻繁に声を掛けられる。とりあえず試食はする。「検討中です」「もうちょっと見て回ります」で逃げる。

結局何も買わずにバスへ戻った。タラバガニとアブラタラバの違いがわかってよかった。

でも、脚だけだと多分見分け付かないな。

函館朝市を後に、高速経由で大沼国定公園へ。生憎雨が降ってくる。湖の周りを歩くが、出発までに一周できる距離ではないことに気づいて売店へ。地ビールは美味しそうだが、午前中から呑む気にならないのでパス。セット販売のアメを購入。

バスで昭和新山に向かう。湖畔の緑は柔らかい。高知の濃い緑とは違う。植林も少ない。紅葉の頃は更にきれいだろうと思う。

洞爺湖を左手に見て昭和新山へ。個人所有ということは知らなかった。もし自分ちの畑から山が生えたら驚くだろうな。近くで見ると山というよりは溶岩の塊。ところどころ湯気が立ち上っているの、きっと表面は熱いのだろう。草木も生えていない。

昭和新山をバックに集合写真を撮る。ここでも有料だが、記念に購入。土産物屋から消費税分サービスのチケットをもらう。どこで買っても同じなら、とりあえずここで買うか。

チョコレート類は溶ける恐れがあるとは思ったが、とりあえず購入。思ったより箱が大きい。

昼食は石狩鍋とのこと。バスで少し移動してなんだか怪しげな外観の土産物屋へ。席に着くと、生ビールの注文を取ってくれた。ありがたい。ホタテを焼くが、焼き上がりがわからない。焼き過ぎぐらい焼いて食べたら、美味しかった。石狩鍋はだしの効いたスープがうまい。高野豆腐が入っていたが、スープの味がしっかりしているので、普通の豆腐よりはこちらのほうが相性が良いのだろう。やはり量は多い。少々食べ過ぎた気がする。

あとは札幌市へ向かうのみ。予定外のトイレ休憩をはさみつつ、バスは進む。広大な土地が広がる。川も渡るが、護岸なんて見当たりもしない。

札幌市に到着。札幌ドームは思ったより郊外にあった。赤レンガだの大通公園だのよく聞く場所を眺めつつ、ホテルに到着。

札幌には高専時代の同級生が住んでいるので呼び出して食事をする。卒業以来ほとんど会っていないので少し緊張。大通り公園まで歩いて噴水の前で電話。噴水の前と伝えと、もう少し歩けとのこと。横断歩道を渡ったらまた噴水。結局もとの噴水の前まで戻る。ラーメンフェスティバルとかワインフェスティバルとか楽しそうなイベントの真っ最中。金曜夕方ということもあり大盛況。そういう人たちを横目におっさん二人がビールで乾杯。見た目はずいぶん変わったけど、話すと一気に 30 年前に戻る。そのまま並ぶ必要があるというジンギスカン屋さんへ向かう。

北海道で一番有名な交番だというススキノスクランブル交差点脇の交番を教えてもらった。確かにニッカウヰスキーのでかい看板は見た覚えがある。

そのままぶらぶらジンギスカン屋さんへ。なんでも札幌市内に 6 店くらいある有名店なんだそうだ。この日向かったのはその本店。行列用の椅子が店の外に並べられている。が、誰も座っていない。並ぶのを覚悟していたが、開店直後のエアポケットにハマったみたいで、そのまま座れた。

店内は狭い。U 字型のカウンターのみに、15 人も座れば一杯か。目の前で炭火がおこっ

ている。ジンギスカン鍋を載せて、改めて乾杯。肉は柔らかくて非常に美味しい。臭みが少なく驚いた。野菜と肉でお腹が張ったところで二軒目へ。

正直言って食べ物は高知が一番美味しいと思っている。海鮮丼につきもののウニやイクラは不得手だし。でも、ここで食べたアスパラガスは美味かった。高知で食べるものより2周りくらい太いのは一切筋張っていない。聞けば今が旬らしい。土産に出来ないのが残念。

■5月23日

早くも最終日。朝食を済ませてバスに乗り込む。今日は小樽経由で千歳空港へ。高速から見る山の手の団地はずいぶんと用地に余裕があるように思う。排水路は掘りっぱなしだし、無駄に間隔開いてるし。雪かきの処理用か。

あとはほとんどの住宅の屋上が水平になっている。雨樋は屋根の端ではなくて、脊梁部分に隠されている。屋根に上るためのはしごも付いてる。これも雪対策なんだろうと思う。

小樽の市街地に入る。石原裕次郎記念館に行く人は少なくなっているようだ。自由行動の前に小樽港の防波堤に向かう。記念館は管理事務所の1階に併設されているらしく、休日は休館とのこと。明らかに休日出勤のクルマがあったから、何とか中へ入れてもらえないか添乗員さんがうろうろしてくれたがダメだった。

港内にはヨットが何艘も走っている。風が強い。防波堤はそのほとんどが海中に隠れているから、構造はわからない。でも、積み上げたコンクリートブロックはところどころ欠けていて、完成からの時間や受けた波の強さが伺える。

管理事務所から北を見ると、山裾の街とその前面の海が綺麗に見えた。上天気で何枚か写真を撮る。防波堤からはたくさんの人が釣り糸を垂れている。

思っていたのとちょっと違うと思いつつ市街地へ戻る。

小樽の市街地は観光客相手の店が大量にあって、長時間いても飽きない。昔土産にビールジョッキをもらったことを思い出しつつ、ガラス工芸店で土産を買う。目当てのものを購入したのであとは街を散策。旧日銀小樽支店が資料館になっていたので、入ってみる。無料にもかかわらず充実した内容で思った以上に面白かった。

そのまま運河方面へ。ブン公って誰だ。

運河クルーズの船が通る。船頭は外国の方だった。あちこちに似顔絵や風景画を書く人が。のんびり歩いていたら、昼飯食べる時間が少なくなってきたので、観光客相手の店に入ってラーメンを注文。味噌ラーメンはあまり好きじゃ無いはずだったが、好みの味で美味しかった。

旅行前に十分な下調べをしていなかったの、散策は行き当たりばったりになり、廣井勇の銅像を見ることができなかった。市街地からは少し距離があるようなので、歩くのは厳しそうだが、タクシーを使えば一瞬だし、小樽港の防波堤も事務所のある南側ではなく、銅像に近い北側のほうが見学に適していたようだ。次回からはもう少し下調べをするよう

にしたい。

バスに戻って今度こそ千歳空港へ。函館空港とは比べ物にならないくらい大きい。バスガイドさんたちと別れて空港内へ。少しおみやげを買い足す。

千歳を後に羽田空港へ。今回の旅行では、乗り継ぎ時に団体客専用通路を使った。ようは添乗員だけがチケットを通し、それに続く人間はフリーパスにしようという仕組みらしい。施設内の混雑を避けることができるし、こちらも時短できるので便利だ。

最終便なので時間が押しているらしい。優先搭乗のあと、団体客である僕らを搭乗させてくれるらしい。グズグズするなっということか。

羽田高知間は良く揺れた。機内サービスで熱いコーヒーをもらったものの、大きく揺れてこぼしそうになって飲むのに苦労した。それでも定刻に高知着。

長いようだったが、あっという間に旅行が終わった。

社員旅行（in 北海道）

河川砂防課 富永敏絵

5月21日(木), 6:50に高知龍馬空港に集合。高知にしては珍しく風が強く、寒い朝だった。遅刻者もなく、定刻通り出発した。

羽田空港を経由し、やっとお昼に函館空港に到着。空港を出ると、やはり高知とは比較にならないほど寒かった。函館は海の近くで風がよけいに強いというガイドさんの説明があった。



昼食：函館市場での海鮮丼

朝が早かったのもとてもお腹が空いていたこともあり、脇目もふらず食べてしまった。

昼食を終えると少し市場を散策し、次の目的地、五稜郭に移動。

町の真ん中に広大な公園とタワーがあり、公園内には奉行所跡と実際に箱館戦争で使用された大砲もあり、歴史を感じることができた。ツツジと藤がきれいに咲いていた。タンポポが多く咲いていたのに驚いた。

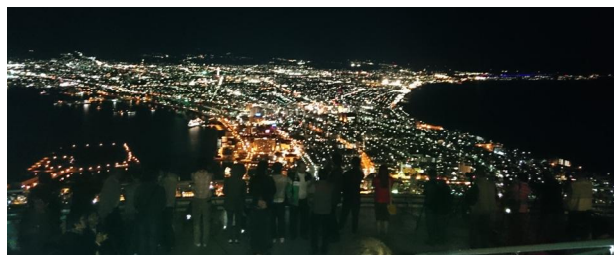


公園内の様子

五稜郭で集合写真を撮った後は、トラピスチヌ修道院を見学した。ガイドさんの説明で、初めて修道院での生活ぶりを知ることができた。とても規律が厳しく、私には耐えられない生活だと思った。

修道院見学の後、1日目の宿泊先に到着。夕食は、海鮮をメインにした函館ならではの食事を頂いた。

函館山はとにかく寒かったが、予想以上の夜景を見ることができた。春先は霞がかかることが多く、綺麗に見られる日が少ないということだったが、この日はとても天気がよく、ラッキーだった。函館山からの帰りは、バスが遠回りをしてくれたので、赤煉瓦倉庫や元町の雰囲気を楽しむことができた。



函館山からの夜景

旅館の温泉は、疲れと寒さもあり、とても癒やされた。

2日目は函館から札幌への移動。途中で大沼国定公園と昭和新山を見学した。大沼公園では雨に降られながら、公園内を散策した。



「千の風になって」の碑と駒ヶ岳

札幌についてからは自由行動。私は、ホテルの近くを散策しながら大通り公園や時計台、旧北海道庁舎等を見た。大きな街なのに風情があって、東京のように時間に追われる感じもなく、いい所だと思った。

夕食を取った後は、ガイドさんお勧めの JR タワーの展望台に上がってみた。ここもやはり綺麗だった。偶々ピアノとクラリネットの生演奏があり優雅な一時を過ごすことができた。



JR タワーからの夜景

3 日目は小樽での自由時間を満喫した。ガラス館やオルゴール館，スイーツのお店を時間一杯回った。

名残惜しかったが，北海道を後にし，高知まで全員無事に帰ってきた。

至るところにまだ桜の花を見ることができ，北海道にいるんだなと実感できた。食べるもの全てが美味しく，日程もきつすぎることなく，大変満足した旅行だった。

ガイドさんは，70 歳とおっしゃっていたが，とても若く見え，さすがに経験豊富でいろんな質問に答えてくれた。この旅行が楽しかったのもガイドさんの力に依ることも多かったのではないだろうか。



洞爺湖ほとりの桜

社員旅行 2015 ～北海道～

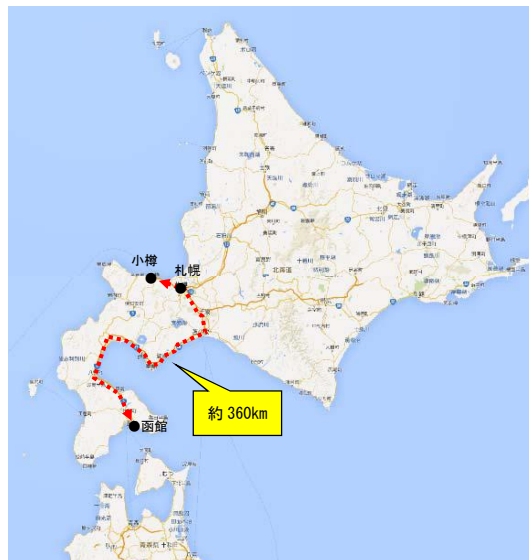
設計一部河川砂防課 谷脇 弘規

今年の社員旅行先は北海道。

函館、札幌、小樽を巡る道南食いだおれツアーである。

旅行プランは下記に示す5つの候補地から、参加者によるアンケートにて決定したものである。

- ①北海道（グルメ）
- ②北陸（北陸新幹線、黒部ダム）
- ③名古屋（グルメ）
- ④和歌山・三重（高野山・グルメ）
- ⑤九州（グルメ・温泉）



▲主なバス移動経路

個人的には、今年3月に開通したばかりの北陸新幹線や、学生時代にNHK番組「プロジェクトX」で見て感動した黒部ダムを経由するプラン②が一番人気と予想していたが、投票の結果は次点であった。

北海道希望の方々に話を聞くと、北陸新幹線には興味があるものの、帰路がJR四国の南風となることから敬遠されたようである。

技術の進歩に若干の儂さを感じつつ、気持ちを北海道に切り替えて出発当日を迎えた。主な旅程は以下のとおりである。

- ・5/21：高知空港→羽田空港→函館空港→トラピスチヌ修道院→五稜郭公園→夜景観賞
- ・5/22：函館朝市→大沼国定公園→昭和新山→札幌フリータイム
- ・5/23：札幌市内車窓観光→小樽フリータイム→新千歳空港→羽田空港→高知空港

自身初の北海道上陸、楽しみにしていたのはもちろん「おいしい食事」と「ススキノ歓楽街」である。

羽田空港での乗り継ぎ時間から既に片手にはビール、朝の9時からアルコールを注入し贅沢な時間を過ごせていることに感謝・感動を覚えた。

現地に到着し、御年70歳というベテランバスガイドによる解説は、膨大な知識や数値、地名の由来などがスラスラ出てきて、長距離移動を飽きさせない時間を過ごすことができた。地名の一例として、長万部（オシャマンベ）はアイヌ語でカレイの居るところ、という意味であり、八雲（やくも）は1週間のうち8日も曇るというほど天気が不安定なところから命名された、ということである。

今回の旅程にある、五稜郭公園や函館山からの夜景、大沼国定公園（新日本三景）、昭和新山（天然記念物）は想像していた以上に綺麗で見応えがあり、大満足の景勝地であった。

食事は噂どおり何を食べてもおおいかった。

ウニは元々好みではないが、現地のものであればもしかするとおいしく感じるのでは？と期待していたが、やはり苦手なものは苦手なまま、克服できず残念であった。

小樽でのフリータイムには、たまたま見つけた旧日銀小樽支店を訪問してみた。外観だけ見るつもりであったが「内部見学無料、1億円の重さが体験できる」と書かれた看板が出ており、迷わず入館。これが予想外に見所満載で、開拓と貨幣の歴史が詰まっており非常に貴重な時間を過ごすことができた。

街並み自体石造りの古い建物が多く、外観だけでも情緒深く楽しむことができるうえに、内観は現代風にお洒落な改装が施されているものや観光客向けにしかも無料で展示施設が整っていたりすることなど、街全体が非常に魅力的で観光客が耐えない作りになっていると感じた。

高知の食べ物も県外観光客には大変好評なようだが、年間を通したここまでの集客力・商店街の活気はとても敵っていないと感じた。高知もこのように県外・国外の観光客で賑わい、潤ってほしいものである。

今までの社員旅行は、単に社員の一員として参加する側であったが、今回始めて親睦会役員（会長）として企画段階から携わることとなった。

段取りの未熟さや知識のなさを痛感することもあり、過去に親睦会役員をされていた先輩方の手腕に感服した。

ススキノ歓楽街編については、また別の機会があれば報告することとしたい。

去年に引き続き社員旅行をさせていただきありがとうございました。



▲羽田空港での待ち時間



▲H・B観光バスとガイドの鈴木さん



▲五稜郭タワーと展望台から見た五稜郭公園



▲五稜郭展望台から見た函館山



▲函館山から見た 100 万ドルの夜景



▲湯の川温泉旅館 渚亭での夕食と朝食バイキング
(朝食バイキングはイクラ・サーモン・ネギトロの海鮮丼も食べ放題)



▲旧日銀小樽支店の外観と屋内提示パネルの一例



▲一億円の大きさと重さを体感



▲グルメツアー締めくくりは小樽で豪華海鮮丼

北海道社員旅行感想文

設計一部 河川砂防課 島村 圭太

この度は、社員旅行に行かせて頂きありがとうございました。滅多に行くことのできない北海道でいくつもの思い出を作ることができ、また行きたいと思いました。

1 日目は、まず新鮮な海鮮丼を食べ、市場を巡りました。狭い土地に市場が密集しており、蟹や貝などの新鮮な魚介類がたくさん売られていました。次はトラピスチヌ修道院に行きました。シスターを見ることはできなかったのですが、普段見ることのできない施設を見ることができたので良かったです。その後、五稜郭公園に行きましたが、展望台から見た景色はとてもきれいで、今でも印象に残っています。そして宿に着き、美味しい夕食を堪能した後、函館山の 100 万ドルの夜景を見に行きました。天候にも恵まれ、高知にはないようなすごい夜景を見ることができました。また観光客も多く、とてもびっくりました。

2 日目は、1 日目に行った函館朝市に行き、次に大沼国定公園に行きました。公園ではボートに乗る事も出来ると言うことで、僕は乗らなかったのですが、先輩たちが乗っているのを見て乗ったら良かったなと少し後悔しています。その後はホテルをチェックインした後はフリータイムでしたので、札幌ドームにプロ野球を見に行きました。たまたま先発が大谷と言うこともあり、とても興奮しながら観戦しました。観戦が終わった後、すすきのに行き、楽しいお酒を飲むことができました。

最終日はバスの中から時計台、旧道庁、大通り公園、テレビ塔などを拝見しました。どれも見たことないものばかりだったので良い思い出になりました。その後は小樽市でフリータイムだったので、ラーメンを食べたりお土産を買ったりなどで 3 時間がすぐに過ぎてしまいました。

北海道は意外と寒く、上着をもう 1 枚持って行けば良かったと後悔しています。土地柄は札幌市以外は高知にとっても似ており、違和感がなかったです。

今回は北海道に社員旅行に行かせて頂き、ありがとうございました。とても良い思い出になり、また行きたいと感じる旅行となりました。来年も旅行に行けるように精一杯仕事を頑張ります。今回は本当にありがとうございました。

「北海道旅行」に参加して

調査測量部 弘田 伸

1. はじめに

北海道は、平成 7 年の道央，平成 11 年の道東以来、16 年ぶり 3 度目である。前回は大自然の中，ゴルフを楽しんだが，今回はおいしいものを食べ，社員との親睦を深め，ゆったり北海道を楽しみたいものだ。

2. 高知→函館（5 月 21 日）

高知龍馬空港 7 時 35 分発，羽田空港を経由し函館空港へ向け，第一班，総勢 37 名で出発した。

11 時 45 分函館空港着。今日の函館はどんより曇っており，高知と違いまだまだ肌寒い。

昼食は函館市場にて海鮮丼をいただいた。新鮮な魚貝がたくさん盛られておりおいしいが，食事中，店員の土産の売り込みがうるさい。食事中はゆっくり食べさせてもらいたいものだ。

午後は，函館戦争の舞台でヨーロッパの「城郭都市」をモデルとした要塞「五稜郭」，日本初の女子修道院「トラピスチヌ修道院」を見学後，16 時 30 分，今夜の宿泊場所，湯の川温泉に到着した。



展望台から五稜郭を望む

17 時 30 分から 2 時間の宴会後，日本三大夜景（函館・神戸・長崎）の一つ，函館の夜景観賞に出かけた。バスガイドさんによると，この時期は

雲がかかることが多く，今夜ほど澄み渡ることは珍しいようだ。第一コンサルタツツの未来を象徴している眺めである。



函館山から望む 100 万ドルの夜景

函館山展望台には，日本最初の実測地図を完成させた「伊能忠敬北海道最初の測量地碑」が設置されていた。これは，寛政 12 年（1800 年）蝦夷地に渡り，観測の起点が函館山であったことに由来されている。



伊能忠敬測量地碑

ホテルに戻り，間近に津軽海峡を眺める絶景の露天風呂に入る。ゆっくり旅の疲れをとった後，早めに就寝した。

3. 函館→札幌 (5月22日)

8時にホテルを出発。昨日の昼食場所、函館朝市に出かけた。土産物店の店先から呼び込みの声が響き渡るが、この時期は観光シーズンの間でもあり、観光客は多くない。「かに」などの試食をしながら散策。さすがに現地で食べると格別だ。

次に、新日本三景(大沼・静岡県-三保の松原・大分県-耶馬溪)の一つ、大沼国定公園を経て、火山の噴火によりできた、標高 398m、国の特別天然記念物に指定されている昭和新山を観光。

昼食は、石狩鍋懷石でビールがすすむ。

その後、新緑の道央自動車道で2時間ほど掛け札幌市内まで移動。途中ビールの影響か、何度もトイレ休憩に止まる。16時過ぎホテルにチェックイン。

今夜は、プロ野球界において異次元の選手、投手と打者の二刀流に挑戦中の北海道日本ハムファイターズ、大谷翔平選手が運良く先発することを知り、数人で急遽サッポロドームに野球観戦に出かけた。

試合は、予想どおり完璧なピッチングをしていた大谷投手だったが、7回、突如撃ち込まれノックアウト。これは滅多に見られない試合だ。旅行のおかげで大谷選手を見ることができ、感謝。

その後、「夜のすすきの」で2日目を終えた。



日本ハムVSソフトバンク

4. 札幌→高知 (5月23日)

ホテルを9時にチェックアウト。札幌市内の時

計台・大通り公園・テレビ塔などを車窓観光し、1時間ほど掛け小樽へ移動した。

小樽では、大正12年に完成した小樽運河を見学後、観光客で賑わう、「堺町本通り」を散策した。ここは、レトロな雰囲気の街並みが続く通りで、ガラス工芸品やオルゴール・海産物・お菓子などの土産物店の他に、寿司・ラーメン・喫茶店などの食事ができるお店が立ち並んでいた。この通りで、特に有名なお店といえば、「北一硝子」「小樽オルゴール堂」、ケーキなどの洋菓子で有名な「ルタオ」などのようだ。昼食は、またまた海鮮丼を食べ北海道の締めくくりとした。



小樽運河

しかし、どこの観光地へ行っても中国人観光客が多い。日本への経済効果を改めて実感した。

帰りは、16時30分発、新千歳空港から羽田空港を経由し、20時10分高知龍馬空港到着。帰宅の途についた。

5. おわりに

今回の旅行は若手社員が多く参加し、親睦も図られ、今後の第一コンサルタンツにとって、大変有意義な旅行となったに違いない。私自身も気分転換ができ、良い旅行となった。

ただ、出発日の朝、田中課長が急病により参加できなかったことが、非常に残念であった。来年また、社員旅行ができるよう、業務に一層励みたいと思う。

北海道社員旅行レポート

調査1課 西村 修

北海道と言えば、広大で、見所も多く、何と言っても食べ物が美味しいというイメージが私自身あり、非常に楽しみにしていた。

私は、北海道は3回目で、1回目は、入社2年目？の社内旅行で登別、札幌の道央の旅で、2回目は、新婚旅行で釧路、知床他の道東～旭川、札幌の道央の旅であった。

そして今回は、今までに行ったことのない、函館を含む道南の旅であり新鮮であった。

1日目：函館

到着後、朝市での昼食。まずバスを降りて感じたのは、寒いということであった。

昼食は、海鮮丼であったが、特にウニ、いくらが新鮮で美味しかった。

・五稜郭公園。

こちらは、想像以上に素晴らしかった。桜の木もたくさんあり、桜の時期であれば、更に素晴らしかったであろう。

・女子修道院～宿泊場所である湯の川温泉で夕食(宴会)

夕食は、美味しく、ボリュームもあり、満足のいくものであった。朝食についても、バイキングであったが、品数が多く、美味しかった。

・函館山での夜景

20時～21時の時間帯が最も夜景がきれいであるとのことであった。ちなみに、一般車両は、22時以降しか入れないとのこと。

幸いにも天気が良く、思っていた以上に素晴らしい夜景であった。これは夜景が直下に広がっており、その上近いのが要因ではないかと感じた。

2日目：函館～札幌

2日目は、移動日であった。朝は、ポツポツと雨が降る天気。このような天候の中、朝市～大沼公園～昭和新山へ移動し、昼食。昼食は、石狩鍋であった。味噌スープに鮭等の具材が入ったものであった。これもボリュームがあり、お腹一杯となった。

バスガイドも北海道に旅行に来たら、1日1キロ体重を増やして帰って下さいと言っていたが、なるほど分かる気がした。

その後、札幌へ。

宿泊場所は、すすきの内の好立地なホテルであった。

晩は、居酒屋にラーメンにと満喫できた。

3日目：小樽～新千歳空港

小樽では、小樽運河、日銀旧小樽支所等に行き、後は土産物を購入した。

昼食は、海鮮丼を食べたがやはり美味しかった。

空港では、残りの土産物と子供への土産物を購入した。

最後に。

社員旅行は、家族旅行とはまた違う良さ、意義がある。

今回の旅行は、2日目の移動日をもったいない感じはしたが、満足出来る内容であった。

次回の社員旅行も是非参加したい。

社員旅行

調査測量部 調査一課

岡村 和輝

今年度の社員旅行もとても有意義な二泊三日でした。

函館朝市での海鮮丼、湯の川温泉での夕食、洞爺湖のほとりにて石狩鍋、札幌ラーメンなど行く先々で北海道の食を楽しみました。特に函館朝市のカニはどれも美味しそうでした。

トラピスチヌ修道院、五稜郭公園、函館山の100万ドルの夜景、大沼国定公園、昭和新山、札幌小樽市内観光など、とても良い経験ができました。実際にその場所に行き見学すると、感動や驚き、発見など様々な感情がわきました。この経験を業務に役立てていきたいです。



この社員旅行で設計部や幡多支店の方々とコミュニケーションをとることができ、とても有意義な旅行だったと考えています。北海道の文化、歴史、自然、食に肌でふれることができ、とてもいい体験ができました。

最後になりましたが、この社員旅行を計画、実行していただいた親睦会、旅行会社、バス会社の皆様にお礼を言いたいと思います。



株式会社 第一コンサルタンツ 2015.5.21 史跡五稜郭



株式会社 第一コンサルタンツ 御一行様 北海道の旅 2015.5.22

北海道旅行

調査一課 小松良夫

私は第一班で北海道旅行(函館・小樽・札幌)に行ってきました。北海道旅行といえばやはり大自然とグルメです。私は大自然を満喫しながら、おいしいお酒と魚介類を食べられることを楽しみに高知龍馬空港から旅立ちました。

北海道の気候：週間天気予報で気温が低めになっていたので薄めのコートを持参していましたが、函館空港に着いた時から少し寒いと感じました。全日程の中で1日目、箱館の夜景を見に行ったときに特に寒く、2日目以降は日差しが暖かく過ごしやすい気候でした。

北海道の自然：2日目の大沼国定公園、昭和新山が一番印象に残りました。四国にもきれいな山や川をいくらでもあります、火山性の山や湖はありませんので新鮮で美しく感じました。特に大沼・小沼湖の景色がきれいでしたが、冬には全面氷が張り、ワカサギ釣りが楽しめるそうで、また来てみたいと思いました。

北海道のグルメ：食事は特に魚介類が新鮮でおいしかったです。出発前に寿司とラーメンはどうしても食べたいと思っていたので、箱館の夜にラーメンを、小樽の昼食で寿司を食べたので大満足でした。

プロ野球観戦：札幌での自由行動で札幌ドームに日本ハム対ソフトバンク戦を見に行きました。今人気の大谷投手の投球や中田選手のホームランが見えてラッキーでした。

小樽港南防波堤：小樽での自由行動で高知県佐川町出身の広井勇博士の弟子が造ったといわれる南防波堤を見学に行きました。日本で最初のコンクリート製の防波堤で100年近く前に造られたそうですが、見た目はかなり老朽化していますが、特に変状は見られませんでした。

終わりに：今年の社員旅行は遠方のわりには移動時間が比較的短く、それぞれの場所でゆっくりできて、中身の濃い旅行ができてよかったと思います。第一班の皆さんお世話になりました。

社員旅行（北海道）に参加して

調査測量部調査二課 岡内雅士

5月21日から二泊三日の日程で北海道に行ってきました。行程としては、高知龍馬空港を出発し、羽田空港を経由して北海道の南の玄関口である函館空港からスタート、各名所を廻りながら札幌へと北上する道南の旅行でした。

無事に函館空港に到着し、バスに乗り込む時、初めて外にでました。ある程度予測はしていましたが、やはり寒かった。

まず向かったのは函館市場、空港からバスで市内を通り向かったのですが、車窓から見える市街地は思っていたより人通りが少なく寂しく感じました。函館市場も平日の昼時ということもあってか、観光客等も少なく閑散としていました。あるお店の方と話しましたが、観光客の大半は集団でくる中国等からの観光客で日本人は少ないと行っていました。

その後、五稜郭等の観光地を廻り、この日の宿泊地である湯ノ川温泉に向かいました。ホテルは海沿いにあり、津軽海峡が一望でき、特に露天風呂が大変気持ちよかったです。そして夕食後向かったのが函館山での夜景観賞でした。夜は大変寒く、あまり初めは気乗りしなかったのですが、夜景はすごく綺麗で、無理してでも見に来てよかったと思います。



5月22日は函館から札幌へと向かいました。この日は大沼公園や昭和新山を巡り、早めに札幌市内のホテルに到着しました。

この日は夕方から各自、自由行動であったため、私は数人のグループで札幌ドームへ野球観戦に行きました。初めて札幌ドームを訪れましたが、日本ハムファンの熱気をすごく感じました。施設やその周辺も整備され、とてもきれいでした。野球のほうは、地元である日本ハムのエースである大谷投手が登板、四番の中田選手がホームランを打ち、試合は日本ハムのサヨナラ勝ちという、大変おもしろいゲームで、すごくラッキーだったと思います。



5月23日、最終日は小樽を観光しました。小樽は以前の社員旅行等で何度か来たことがありましたが、小樽運河や歴史的な建物も多く、町全体が観光地といった雰囲気で何度きても楽しい場所だと思います。また食べ物も海鮮等の食事処やスイーツ等のお店も多く、色々な店を廻り楽しむことができました。



今回は二泊三日の道南の旅行でしたが、ケガや病気等もなく、楽しむことができました。また北海道旅行に行く機会があれば、今度は道央から道東を観光したいと思います。

北海道旅行

調査測量部 調査二課 西森尚人

平成 27 年 5 月 21 日(木)～5 月 23 日(土)まで北海道研修旅行(第一班)に参加しました。昨年の東京旅行に続き 2 回目の参加です。北海道上陸は 2 回目になりますが、特に計画は練るわけでもなく、自由行動はノープランで出発を迎えることになりました。

「5 月 21 日…第 1 日目」

初日を振り返ってみて、ぱっと思い浮かぶのは函館朝市の客引きでした。全盛期の街並みからは、閑散としている場所も見受けられましたが、売り手の勢いには圧倒されました。ガイドさんからの話もありましたが、ちょっと距離を置いたぐらいが色々な場所が廻れて、楽しめたかもしれません。そんなことあってか、お土産は何も買わず朝市を後にしました。宴会後の函館山の夜景は話に聞いていた通り、とても美しいものでした。扇状の地形「巴港」がより綺麗に魅せているように感じました。また機会があれば訪れたいと思います。



「5 月 22 日…第 2 日目」

夕方からのフリーの時間をどう過ごそうかと考えながらのスタートでした。昭和新山

は一時期の状況よりは減っているとのことでしたが、湯気が立ち上がり、その独特の地質・浸食状況は天然記念物として圧倒的な存在感でした。



そしてフリータイムは、札幌ドームへの野球観戦となりました。タイミングの良いことに先発には大谷投手、試合はというと日本ハムが劣勢からの逆転勝利ということもあってこの旅一番の盛り上がりとおいしいお酒を飲むことができました。



「5 月 23 日…第 3 日目」

最終日はのんびりと小樽観光とと思っていましたが、新千歳空港内までお土産探しに慌てた分、時間はあっという間に過ぎ、気づけば帰りの飛行機といった感じでした。

全日ともに、アジア系の観光客の多さに驚きながらでしたが、天候は雨が降ることなく、日頃の忙しさも忘れ、楽しむことができました。旅行に参加し、普段あまりしゃべらない社員とも話ができた為、今まで以上に交流を深めることができたと思います。非常に有意義な時間となりました、ありがとうございました。

平成27年5月26日

北海道で食い倒れ
憧れの北の都 函館・札幌2泊3日の旅

幡多支店5名参加で、高知前泊前夜祭少々飲み過ぎ状態で参加となりました。

初日の、トラピスチヌ修道院の説明の中で、「本人と両親の承諾があれば、誰でも入れますよ、外出出来るのは、本人が病気・親が亡くなった時（病気の時かは記憶無し）・選挙の投票時だけで、現在60名がここで暮らしている」と言われ、非常な衝撃を感じました。（入所8年間は何時でも辞められるとのことで安心）

函館では、夕食後の函館山100万ドルの夜景観賞、外は肌寒くありましたが、これまた最高の夜景を楽しむことができました。

2泊3日の旅楽しく過ごすことができました。

幡多支店
竹田

北海道旅行

幡多支店 畑中徳雄

社員旅行で、北海道（道南コース）2泊3日の旅へ行きました。

初日は、市内観光で、トラピスチヌ修道院、五稜郭公園を観光したあと、函館に位置する湯の川温泉にて、懐石料理での宴会後、函館山の100万ドルの夜景を観賞しました。その後、露天風呂より津軽海峡を一望出来るロケーションが最高でした。



二日目の朝は、活気あふれる函館朝市→新鮮な魚介類（特にタラバガニ・毛ガニ）がどの店にもたくさんあり、一匹（10万円）の物もありました。その後、大沼国定公園→、昭和新山を観光し、札幌市街へ到着、ホテルにチェックイン後、札幌大通り公園を散歩しました。大通り公園の広さに驚きました。（長さ1.5km、幅100m）



私は、今回で3度目の北海道旅行になりますが、初回は道南コースで、2回目が道東コースでした。道南の旅は2度目になりますが、何度行っても「異国情緒あふれる街、夜景、観光、海の幸」は最高でした。

社員旅行

幡多支店 長岡友和

今年は、5月21日～23日の2泊3日の北海道へ行ってきました。

1日目は、高知→羽田経由で函館に到着し、函館朝市にて昼食をとり、その後、五稜郭公園で、タワー高さ107mからの函館山、津軽海峡等を見渡した。

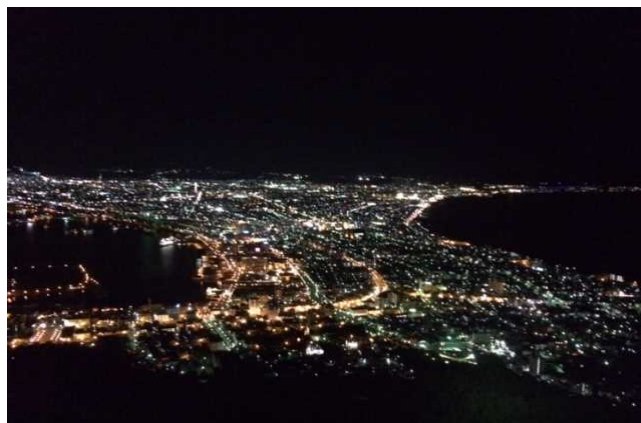


トラピスチヌ修道院では、女子修道院の生活等をバスガイドさんから説明を受け、園内から出られる時は、選挙時・病気時、身内の不幸しか外出はできないそうです。



その後、本日宿泊する湯の川プリンスホテル渚亭に到着。ホテルでの夕食は懐石料理での宴会、一息したら、函館山行き100万ドルの夜景観賞をした。

食事はすごくおいしかったし、夜景はすばらしかった。(夜景の中にハートの文字が隠れているらしい)



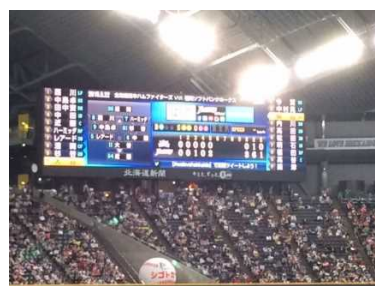
2日目、一日目にも行った函館朝市→大沼国定公園→昭和新山→札幌で自由行動!!
まずは函館朝市。新鮮な魚介類がたくさんあり、特にカニ!!どこのお店でもメインで売っていた。



大沼国定公園、昭和新山に行き、石狩鍋懷石の昼食をとった後、札幌に向かい自由行動となった。



札幌での自由行動は、札幌ドームでのプロ野球観戦(日本ハム対ソフトバンク)
日本ハムが先取点を取り、逆転され最後はサヨナラ勝ちという、見てて興奮するゲームでした。ですが7回裏の時点で帰ったので最後まで観戦できなくて、少し後悔でしたがスタンドでの観戦は点を取るたびみんなで盛り上がりすごく楽しい時間でした。



3 日目は、小樽市内にて自由行動!! ルタオ・六花亭などのスイーツの有名店なので試食
お土産などを購入、町並みを散歩した。ここでの昼食が北海道最後の食事ということで
海鮮丼を食事した。

あっという間で終わった三日間、おいしい食事をし、いろいろな名所を観光した社員
旅行。心残りは、札幌ラーメンを食べなかったことです。すごく充実した旅行でし
た。

これから気持ちを切り替えて今年度もがんばりたいと思います。

北海道旅行記

幡多支店 小橋 順

5月21日からの2泊3日で 今年の社員旅行の地 北海道へ行ってきました。

21日の集合時間が早朝 6:50 高知空港ということで、幡多支店から参加の5名は、
20日 高知市で前泊、もうそこからが今回の旅行の始まりです。

前泊の高知市内では、明日に備えて軽く居酒屋で夕食、早めに就寝。

一日目、空路 高知→東京→函館 の 移動、飛行機が何より苦手な私には恐怖です。
多少、気流の悪いところがあり揺れはしましたが、無事函館空港着。

まず、函館朝市「すずや食堂」にて昼食。店員さんの必死のセールストークを BGM に、ビールを飲みながら「海鮮丼」をいただきました。

その後、五稜郭→トラピスチヌ修道院 を回り一日目 第一部は終了。

宿泊先；湯の川プリンスホテル渚亭にて、懐石料理での宴会後、函館山 100 万ドルの夜景観賞へと出発。

山頂は、高知の今の季節では考えられないような寒さで、周りにはダウンジャケットを着ている人もいたほどでしたが、おかげで空気が澄んで綺麗な夜景を見ることができました。



二日目は、一日目 昼食をとった「函館朝市」へ再び訪れ、みんなが蟹などたくさんのお土産を購入。大沼国定公園，昭和新山を訪れた後、宿泊地札幌へ。

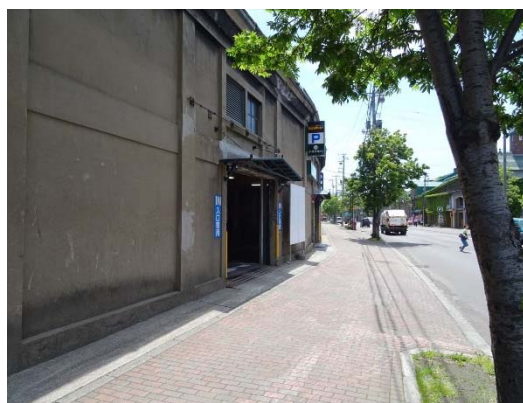
札幌では、各自自由行動ということで、私達は札幌ドームで「日本ハム vs ソフトバンク」の観戦。

野球の知識は全くありませんが、メガホンやジェット風船を使つての応援は初めての経験で大変盛り上がりました。



三日目、あっという間に最終日です。小樽市内の観光、ずっと行ってみたかった小樽運河へ。写真で見たとおりの風情ある景色ですが、倉庫を裏から見ると、実はレストランだったり、駐車場だったりしたのが驚きでした。

小樽には北海道の有名スイーツの本店が軒を並べていて、またまたそこでもたくさんの試食&お土産を買い込んで、帰路につきました。



天候にも恵まれ、バス移動で北海道の広さを実感し、おいしい食事、観光と、とても楽しい旅でした。

「北海道はでっかいどう」まだまだ行きたい場所はたくさんあり、ぜひもう一度北海道を訪れてみたいと思います。

社員旅行感想文

幡多支店 那須滉樹

5月21日から2泊3日社員旅行に参加し、北海道へ行きました。

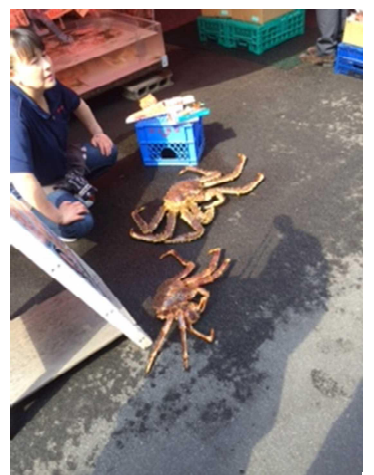
旅行一日目は、函館空港到着後、昼食をとり市内観光で、トラピスチヌ修道院、五稜郭公園を観光し、湯の川温泉で宴会。

宴会の後は函館山の100万ドルの夜景を観賞しました。



二日目は函館朝市、大沼国定公園、昭和新山を観光し、昼食に石狩鍋を食べてから、札幌に向けて移動し、ホテルにチェックイン後はフリータイム。

フリータイムはすすきのへ行き、楽しんできました。



最終日は、小樽市へ移動した後フリータイム。

お土産を見て回った後、地元の陽気なおじさんに教えてもらったラーメン屋で昼食をとりました。

フリータイムの後、空港へ向い、飛行機に乗り高知県へ。



感想

北海道はどこに行っても食べ物がおしかったです。また、大沼国定公園や、昭和新山など、自然も豊で行って良かったと感じました。